経営戦略とは…

「平川市経営戦略」は、平川市が将来どのようなまちを目指し、その実現に向けてどのような取組を進めていくのかを示す、市政運営の基本となる計画です。

人口減少や少子高齢化、社会情勢の変化など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。限られた財源や人員を有効に活用しながら、市民の皆さんの暮らしを守り、平川市の魅力をさらに高めていくためには、市が目指す方向を明確にし、計画的に取組を進めていくことが重要です。

この「平川市経営戦略」では、人口の動きや地域の課題、市民の皆さんの声などを踏まえ、平川市がこれまで大切にしてきた良さや行政サービスを守るとともに、新たな価値や魅力を生み出すための取組を示します。

前期基本計画とは…

「平川市経営戦略」の中で「前期基本計画」は、令和 9 年度から令和 13 年度までの 5 年間で市が取り組む内容をまとめたものです。

この計画は、経営戦略で掲げる将来の方向性に沿って、分野ごとに「めざす平川市のすがた」を示しています。そして、その実現に向けて、市がどのような取組を進めていくのかを分かりやすくまとめています。

市では、「前期基本計画」に基づき、市民の皆さんと一緒に、より良い平川市をつくっていきます。

パブリックコメントについて…

「めざす平川市の姿」は、市だけで実現できるものではありません。市民、地域、事業者、関係団体など、平川市に関わる皆さんがそれぞれの立場で力を合わせることが大切です。

市民の皆さんからいただいたご意見を計画づくりに生かし、将来にわたって安心して暮らせる、魅力ある平川市を目指します。

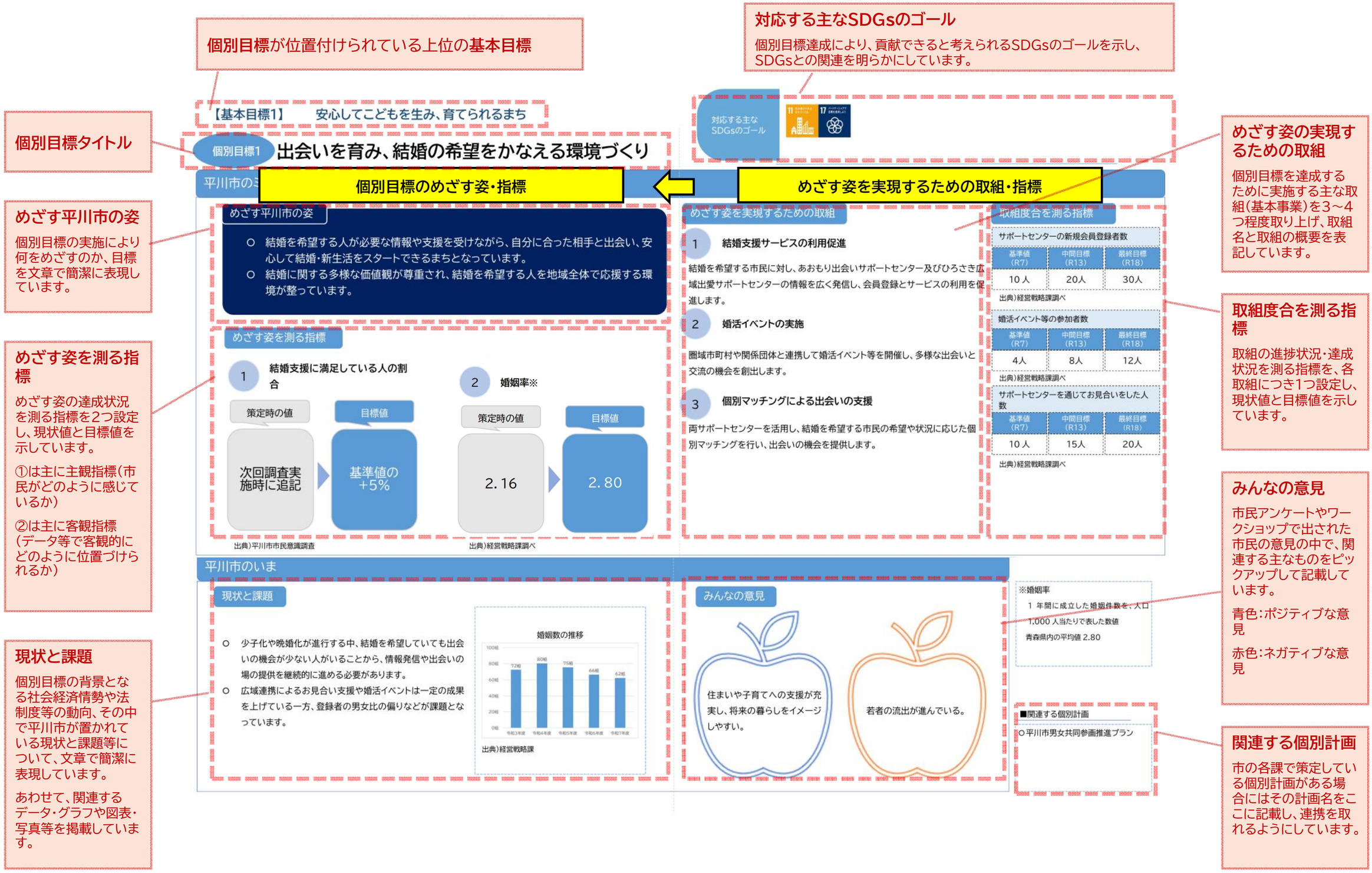
平川市経営戦略　前期基本計画(案)について

平川市経営戦略の体系図

基本構想(令和9年度～令和18年度)			前期基本計画(令和9年度～令和13年度)			
将来像	基本目標	個別目標	めざす姿を実現するための取組①	めざす姿を実現するための取組②	めざす姿を実現するための取組③	めざす姿を実現するための取組④
輝く未来　みんなで創る　平川市	1 安心してこどもを生み、育てられるまち	1 出会いを育み、結婚の希望をかなえる環境づくり	結婚支援サービスの利用促進	婚活イベントの実施	個別マッチングによる出会いの支援	―
		2 妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援体制を	妊娠・出産・子育てへの経済的支援	相談体制の充実	妊婦・乳幼児の健康診査の充実	支援を要する家庭へのケア
		3 健やかにこどもを育てられる環境に	こども・子育て支援サービスの充実	こどもの活動拠点の確保	放課後の居場所の確保	―
	2 こどもや若者が夢を持ち、成長できるまち	1 未来を切り拓くこどもたちの育成を	学校教育環境の計画的な整備	部活動の地域への展開	生きる力を育む学校教育の充実	学校・家庭・地域の連携・協働の推進
		2 心を豊かにする生涯学習を	学びの場と機会の提供	図書館蔵書の充実	社会教育施設の適切な維持管理と環境整備	社会教育団体の活動支援と協働の促進
		3 スポーツ・芸術文化を通じ、学び交流しよう	ライフステージに応じたスポーツの充実	スポーツを支える環境づくりと担い手の育成	地域資源を活かしたスポーツ活動の推進	芸術文化鑑賞機会の提供
	3 働く世代が活躍できるまち	1 稼ぐ力を高め、次世代に誇れる農林業を	地域資源を活かす農業振興と魅力発信	農業の持続的な発展を支える人材育成・確保	農地の集積・集約化と農業生産基盤の確保	環境に配慮した農業と森林資源の適正管理・利活用
		2 活気あふれる商工業の振興と働きやすい環境づくり	にぎわいのある商店街の育成	労働力の確保・充実	起業に対する支援の充実	企業の育成と誘致
		3 地域資源を磨き、心おどる観光・物産に	観光・物産の魅力向上と地域ブランドの発信	広域で連携した観光振興の強化	台中市とのヒト・モノの交流と受入環境の整備	観光施設の整備と関係組織の体制強化
	4 高齢者が安心して暮らせるまち	1 よろこびを感じる生きがい活動を	通いの場の運営支援による社会参加の機会の確保	高齢者の就業機会の確保を中心とした社会参加の推進	高齢者の生きがい活動の推進	―
		2 地域が支え合う包括ケアシステムの充実を	相談体制機能の強化	認知症支援の充実	在宅医療・介護サービスの連携強化	―
		3 一人ひとりの安心を支える地域福祉を	地域福祉計画の推進	福祉意識の高揚と啓発	民生委員・児童委員、社会福祉協議会等との連携強化	―
	5 誰もが心地よく暮らせるまち	1 安全・安心に住み続けられる居住環境を	新たな居住環境の整備	公営住宅の維持管理	空家等の有効活用	空家の管理・発生予防・抑制
		2 暮らしを支える持続可能な基盤整備を	安全で快適な道路環境と除排雪体制の確保	安全で持続可能な生活基盤の維持	持続可能で利用しやすい地域公共交通の確保	DXの推進による行政サービスの効率化と利便性向上
		3 命を守る、災害に強い防災体制	防災情報伝達手段の多重化・利用登録の推進	避難所環境の整備	担い手の確保・育成による地域防災力の強化	建築物等の耐震化の推進
		4 交通安全・防犯体制の充実を	交通安全活動の推進	交通安全施設の充実	防犯活動の推進	防犯施設の充実
		5 未来につなげる脱炭素・循環型社会に	ごみの適正処理と不法投棄防止の推進	ごみの減量化・再資源化と食品ロス削減の推進	公害防止対策の充実	脱炭素・再生可能エネルギー活用の推進
		6 自分らしく輝き続ける健康づくり	疾病予防と健康診査の充実	進んで取り組む健康づくりへの支援	こころの健康づくりへの支援	安心できる地域医療の確保
		7 互いに認め支え合う共生社会を	市の各種審議会における女性委員の登用促進	福祉的就労の場の確保	生活困窮者自立相談支援の促進	―
	6 新たな人がつながるまち	1 選ばれ、住み続けたくなる移住・定住対策を	住みよさと移住関連情報の発信強化	移住体験と受入環境の充実	移住・定住につながる支援の充実	定住推進に向けた居心地の良い空間づくり
		2 互いに支え合い、つながりを育むコミュニティ活動を	地域コミュニティ活動組織の支援と町会加入促進	地域活動への参加促進と多世代交流の推進	地域運営組織の設立・運営支援	集会施設の維持管理
		3 平川らしさを伝えるシティプロモーション	戦略的な情報発信	ふるさと納税制度を活用した知名度向上	ふるさと納税者からSNS等への誘導	―
		4 市民協働によるまちづくり	ワークショップ等を活用した共創の推進	広聴機会の充実	市民が参画できる環境づくり	デジタルツールを活用した市民参画の拡充
項目数	6	23	85			

平川市経営戦略 前期基本計画ページの見方

- 1つの個別目標を、見開き2ページで一覧できるように構成しています。
- 左ページ上段には、個別目標ごとのめざす平川市の姿と、その達成状況を測る指標を掲載しています。
- 右ページ上段には、めざす姿を実現するための取組と、各取組の進捗状況を測る指標を掲載しています。



個別目標1　出会いを育み、結婚の希望をかなえる環境づくり

対応する主な
SDGsのゴール



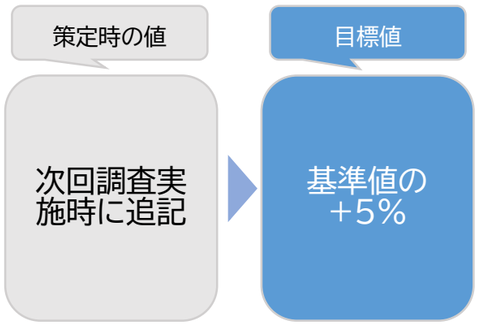
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 結婚を希望する人が必要な情報や支援を受けながら、自分に合った相手と出会い、安心して結婚･新生活をスタートできるまちとなっています。
- ○ 結婚に関する多様な価値観が尊重され、結婚を希望する人を地域全体で応援する環境が整っています。

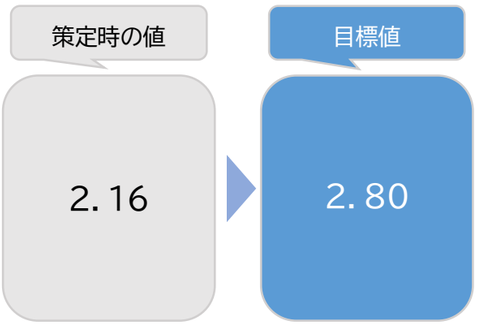
めざす姿を測る指標

1　結婚支援に満足している人の割合



出典）平川市市民意識調査

2　婚姻率※



出典）経営戦略課調べ

めざす姿を実現するための取組

1　結婚支援サービスの利用促進

結婚を希望する市民に対し、あおもり出会いサポートセンター及びひろさき広域出愛サポートセンターの情報を広く発信し、会員登録とサービスの利用を促進します。

2　婚活イベントの実施

圏域市町村や関係団体と連携して婚活イベント等を開催し、多様な出会いと交流の機会を創出します。

3　個別マッチングによる出会いの支援

両サポートセンターを活用し、結婚を希望する市民の希望や状況に応じた個別マッチングを行い、出会いの機会を提供します。

取組度合を測る指標

サポートセンターの新規会員登録者数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
10 人	20人	30人

出典）経営戦略課調べ

婚活イベント等の参加者数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
4人	8人	12人

出典）経営戦略課調べ

サポートセンターを通じてお見合いをした人数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
10 人	15人	20人

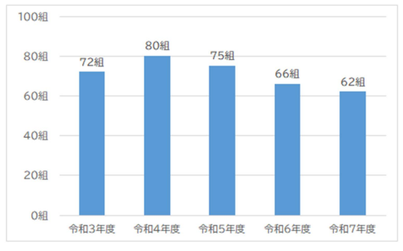
出典）経営戦略課調べ

平川市のいま

現状と課題

- ○ 少子化や晩婚化が進行する中、結婚を希望していても出会いの機会が少ない人がいることから、情報発信や出会いの場の提供を継続的に進める必要があります。
- ○ 広域連携によるお見合い支援や婚活イベントは一定の成果を上げている一方、登録者の男女比の偏りなどが課題となっています。

婚姻数の推移



出典）経営戦略課

みんなの意見

住まいや子育てへの支援が充実し、将来の暮らしをイメージしやすい。

若者の流出が進んでいる。

※婚姻率
1 年間に成立した婚姻件数を、人口 1,000 人当たりで表した数値
青森県内の平均値 2.80

■関連する個別計画

○平川市男女共同参画推進プラン

対応する主な SDGsのゴール

個別目標2 妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援体制を

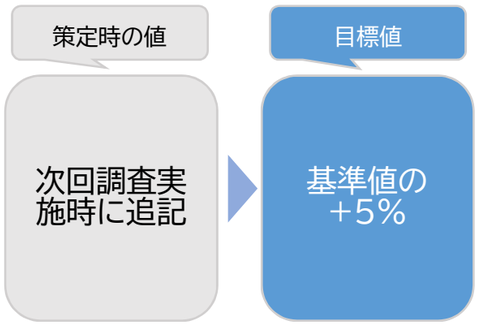
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援が提供され、安心してこどもを生み育てることができるまちとなっています。
- ○ すべてのこどもが健やかに成長し、家庭が安心して子育てに取り組める環境が整っています。

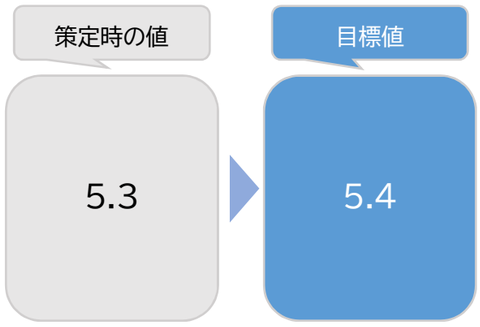
めざす姿を測る指標

1 出産支援に満足している人の割合



出典）平川市市民意識調査

2 出生率※



出典）青森県保健統計年報

めざす姿を実現するための取組

1 妊娠・出産・子育てへの経済的支援

不妊治療費助成や妊婦支援給付事業、こどもの医療費助成などの経済的支援を実施し、妊娠・出産・子育てに伴う経済的負担の軽減を図ります。

2 相談体制の充実

こども家庭センターを中心に、母子保健と児童福祉の一体的な支援を推進するとともに、関係機関との連携強化や地域子育て支援拠点の活用により、身近で利用しやすい相談体制の充実を図ります。

3 妊婦・乳幼児の健康診査の充実

妊婦健康診査や乳幼児健康診査の充実を図るとともに、疾病や発達上の課題の早期発見・早期支援に努め、母子の健康保持とこどもの健やかな成長を支援します。

4 支援を要する家庭へのケア

児童虐待やヤングケアラー、ひとり親家庭など支援を必要とする家庭に対し、関係機関と連携しながら早期発見・早期対応に努め、自立に向けた継続的な支援を行います。

取組度合を測る指標

経済的支援の満足度[点]（5 点満点）

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
—	次回調査実施時に追記	

出典）子育て健康課調べ

妊産婦への伴走型相談支援実施率

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
100%	100%	100%

出典）子育て健康課調べ

乳幼児（3歳児）健診受診率

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
97.7%	100%	100%

出典）保健活動のまとめ

児童虐待が再発した世帯の割合

基準値（R5～R7 平均）	中間目標（R11～R13 平均）	最終目標（R16～R18 平均）
67.6%	63.0%	58.0%

出典）子育て健康課調べ

平川市のいま

現状と課題

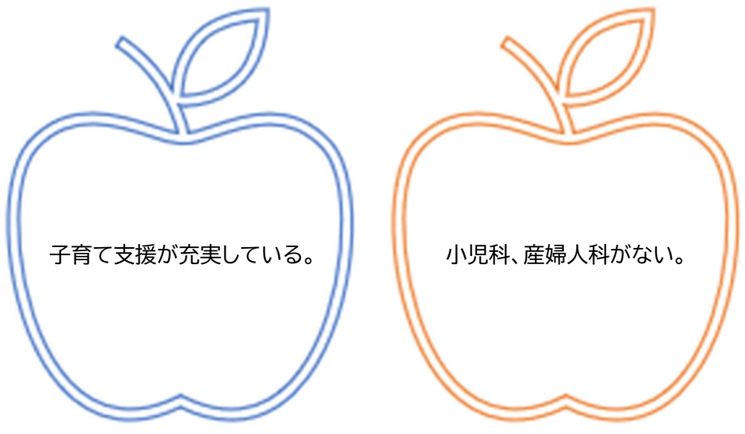
- ○ 少子化が進行する中、妊娠・出産・子育てに対する精神的・経済的不安の軽減に向けた切れ目のない支援が求められています。
- ○ 安心して妊娠・出産し、こどもを健やかに育てることができるよう、妊娠期から子育て期まで一貫した健康管理や相談支援の充実が必要です。
- ○ 児童虐待やヤングケアラー、こどもの貧困など複雑化する課題に対応するため、関係機関と連携した総合的な支援体制の強化が求められています。

出生数及び出生率

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
市	出生数	170人	152人	153人	151人	153人
	出生率	5.6	5.1	5.2	5.2	5.3
県	出生率	5.3	5	4.8	4.4	4.1

出典）青森県保健統計年報

みんなの意見



※出生率
1 年間の出生数を、人口 1,000 人当たりで表した数値

■関連する個別計画

○平川市子ども・子育て支援事業計画

個別目標3 健やかにこどもを育てられる環境に

対応する主なSDGsのゴール



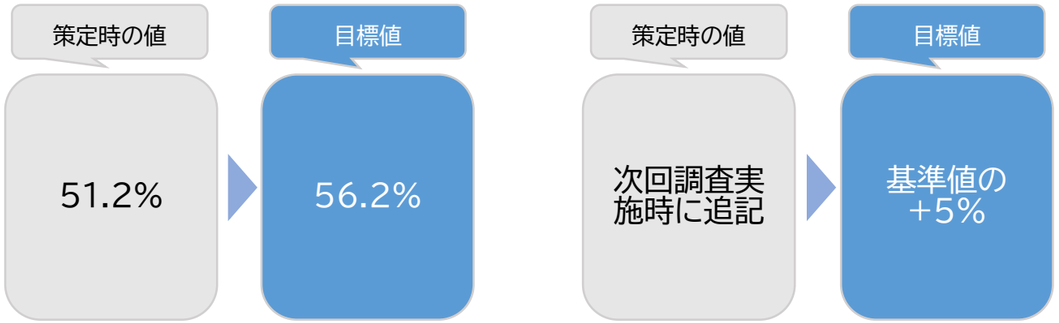
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- こどもが安全・安心に過ごせる環境が確保され、健やかに成長しています。
- 家庭や地域が連携しながら、保護者が安心して子育てできる環境が整い、地域全体でこどもの育ちを支えています。

めざす姿を測る指標

1 保育サービスや子育て支援に満足している人の割合



出典）平川市市民意識調査

2 出産・子育て後も希望通りに働き続けられている人の割合

出典）平川市市民意識調査

めざす姿を実現するための取組

1 こども・子育て支援サービスの充実

市内の特定教育・保育施設での延長保育や休日保育、障がい児保育、病児・病後児保育など、多様な保育ニーズに対応したサービスの充実を図るとともに、地域子育て支援拠点を活用した相談・交流機会を提供し、安心して子育てできる環境づくりを進めます。

2 こどもの活動拠点の確保

地域の実情や保育ニーズを的確に捉え、事業者や関係機関との密接な連携のもと、市内における特定教育・保育施設の環境整備を図ります。

3 放課後の居場所の確保

放課後における児童の健全育成を推進するため、安全で快適な居場所を確保するとともに、学校や地域等との連携・協働のもと、市内における放課後児童クラブの環境整備を図ります。

取組度合を測る指標

延長保育の実施施設数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
13 施設	13 施設	13 施設

出典）子育て健康課調べ

特定教育・保育施設の待機児童数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
0 人	0 人	0 人

出典）子育て健康課調べ

放課後児童クラブの待機児童数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
0 人	0 人	0 人

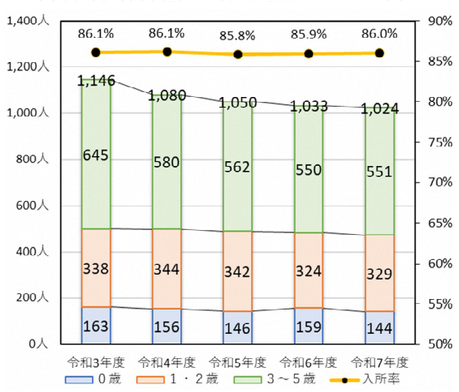
出典）子育て健康課調べ

平川市のいま

現状と課題

- 共働き世帯の増加や就労形態の多様化、育児休業後の早期復職等により、低年齢児からの保育ニーズが高まっており、多様な保育サービスや放課後児童対策の充実が求められています。
- 核家族化や地域のつながりの希薄化が進む中、保護者が安心して子育てできる相談・支援体制の充実が必要となっています。
- こどもが安全・安心に過ごせる居場所の確保と、質の高い教育・保育環境の維持・向上が求められています。

市内教育・保育施設の利用児童数及び入所率



出典）子育て健康課

みんなの意見





■関連する個別計画

○平川市子ども・子育て支援事業計画

個別目標1 未来を切り拓くこどもたちの育成を

対応する主なSDGsのゴール



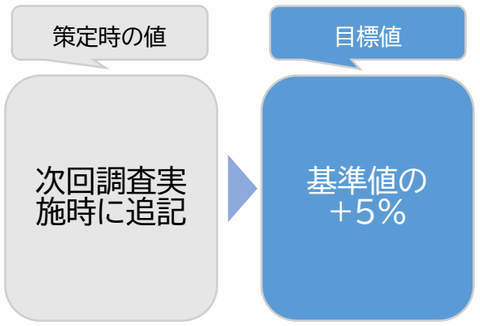
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 時代に即した教育環境が整い、こどもたちが主体的に学び、将来にわたりスポーツや文化活動に親しむことができています。
- ○ 郷土への誇りと多様性を尊重する心を育み、自ら学び考え行動する生きる力を身に付けたこどもたちが育っています。
- ○ 学校・家庭・地域が連携し、一人ひとりの可能性を伸ばしながら、未来を担う人材を地域全体で育む教育環境が整っています。

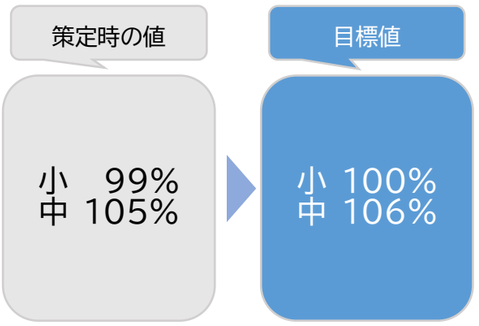
めざす姿を測る指標

1 小中学校の教育体制に満足している人の割合



出典)平川市市民意識調査

2 全国学力・学習状況調査正答率(全国平均を100%としたときの正答率)



出典)全国学力・学習状況調査

めざす姿を実現するための取組

1 学校教育環境の計画的な整備

児童・生徒数の将来推計や住民の意見を踏まえ、国等の補助制度を活用しながら、学校教育環境の整備を計画的に進めます。

2 部活動の地域への展開

中学校の教員が平日の放課後や休日に担ってきた部活動を、地域の人材や施設、地域スポーツクラブや文化団体と連携しながら、地域社会全体で支える仕組み作りを進めます。

3 生きる力を育む学校教育の充実

学習支援員等の効果的な配置や教職員研修の充実により、一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行うとともに、キャリア教育、国際理解教育、健康教育及び郷土愛を育む教育を推進し、生きる力を育む学校教育の充実を図ります。

4 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

地域学校協働活動推進員を全小中学校に配置し、学校・家庭・地域の連携・協働を推進します。また、学校やPTAにおける家庭教育講座の支援、青少年育成団体の活動支援や国内交流事業を通して、学校外での体験活動の充実に努めます。

取組度合を測る指標

小中学校特別教室等冷房設備設置率

基準値(R7)	中間目標(R13)	最終目標(R18)
19.3%	100%	100%

出典)学校教育課調べ

部活動の地域展開の推進

基準値(R7)	中間目標(R13)	最終目標(R18)
0%	100%	100%

出典)学校教育課調べ

各種支援員数

基準値(R7)	中間目標(R13)	最終目標(R18)
34人	50 人	50 人

出典)指導課調べ

地域学校協働活動推進員の活動日数

基準値(R7)	中間目標(R13)	最終目標(R18)
25日	30 日	30 日

出典)生涯学習課調べ

平川市のいま

現状と課題

- ○ 少子化や人口減少が進む中、一人ひとりの可能性を伸ばし、主体的に学び行動できるこどもを育む学校教育の重要性が高まっています。
- ○ 学校施設の老朽化や児童生徒数の減少への対応に加え、教育 DX や教材・備品の整備、部活動の地域展開など、時代に応じた教育環境の充実が求められています。
- ○ いじめや不登校への対応、個々の教育的ニーズに応じた支援の充実を図り、すべての児童生徒が安心して学べる環境づくりが必要です。
- ○ 学校・家庭・地域が連携し、地域全体でこどもの成長を支える体制の充実が求められています。

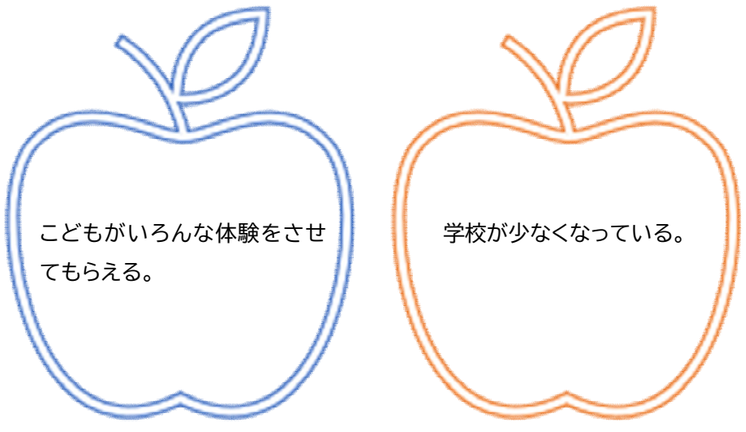
全国学力・学習状況調査結果推移

(正答率全国比) 全国:100%

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
小学校	国語	110%	107%	105%	99%	95%
	算数	108%	109%	103%	98%	96%
中学校	国語	97%	99%	98%	103%	99%
	数学	91%	96%	97%	106%	95%

出典)指導課

みんなの意見



■関連する個別計画

- ○平川市学校施設の長寿命化計画
- ○平川市立小中学校適正配置計画
- ○校務 DX 計画
- ○平川市教育振興計画
- ○平川市教育大綱
- ○平川市社会教育基本計画

対応する主な SDGsのゴール

個別目標2 心を豊かにする生涯学習を

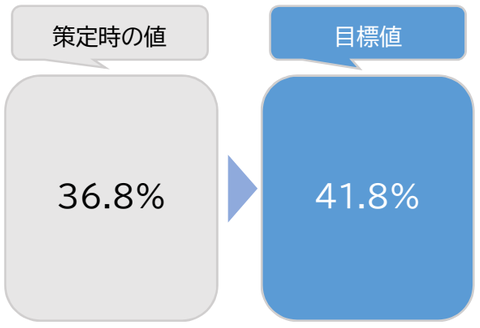
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 市民一人ひとりが生涯にわたって学び続けることができ、多様な学習活動を通じて豊かな心を育んでいます。
- ○ 図書館や社会教育施設が身近な学びの拠点として活用され、多くの市民が知識や教養を深めています。
- ○ 学びを通じた人と人とのつながりが広がり、地域社会の活力向上につながっています。

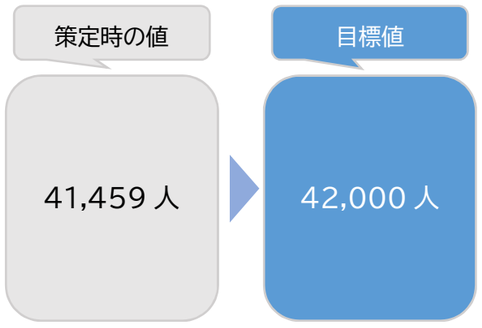
めざす姿を測る指標

1 生涯学習事業に満足している人の割合



出典)平川市市民意識調査

2 文化センターの年間利用者数



出典)生涯学習課調べ

めざす姿を実現するための取組

1 学びの場と機会の提供

生涯にわたる学びを支援するため、ひらかわの寺子屋や十代の寺子屋など、年代や多様な学習ニーズに応じた学習環境の充実を図ります。

2 図書館蔵書の充実

図書システムによる適切な蔵書管理と、図書館蔵書の計画的な更新・充実に努めるとともに、利用する場所や時間にとらわれない電子図書館導入を検討します。

3 社会教育施設の適切な維持管理と環境整備

文化センターの適切な維持管理や設備更新を行い、市民が安全で快適に利用できる生涯学習環境の整備と機能の有効活用を図ります。

4 社会教育団体の活動支援と協働の促進

社会教育団体の活動に対する適切な支援や情報提供を行い、市民の自主的な学習活動の活性化と地域における多様な主体との協働を促進します。

取組度合を測る指標

ひらかわの寺子屋の参加者数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
166 人	200 人	300 人

出典)生涯学習課調べ

図書蔵書冊数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
135,110 冊	145,900 冊	155,300 冊

出典)平川市図書館調べ

文化センターの利用件数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
1,107 件	1,200 件	1,200 件

出典)生涯学習課調べ

補助金を交付した団体数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
8 団体	8 団体	8 団体

出典)生涯学習課調べ

平川市のいま

現状と課題

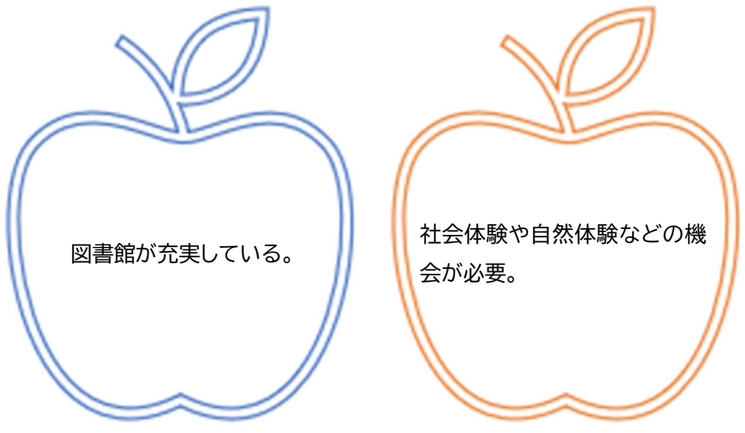
- ○ 情報メディアの発展や社会環境の変化に伴い、年代や関心に応じた多様な学習機会の充実が求められています。
- ○ 地域のつながりの希薄化が懸念される中、地域活動の担い手となる青年層の参画促進が課題となっています。
- ○ 誰もが生涯にわたり学習できるよう、社会教育施設の計画的な維持管理と学習環境の充実を図る必要があります。
- ○ 多様化する学習ニーズに対応するため、図書館資料の充実を図る必要があります。

図書貸出冊数の推移(冊)



出典)平川市図書館

みんなの意見



■関連する個別計画

対応する主な SDGsのゴール



個別目標 3 スポーツ・芸術文化を通じ、学び交流しよう

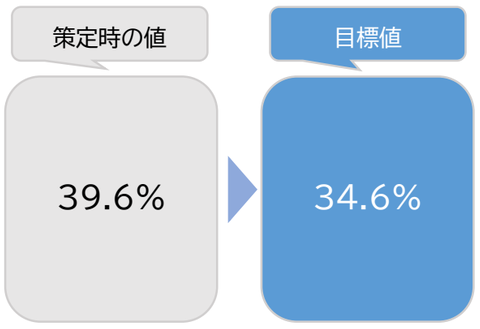
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ スポーツや芸術文化への多様な参加を通じて、人と人、世代と地域のつながりが広がり、地域の活力が高まっています。
- ○ 豊かな地域文化が受け継がれ、市民が学びや交流を通じて心豊かに暮らしています。

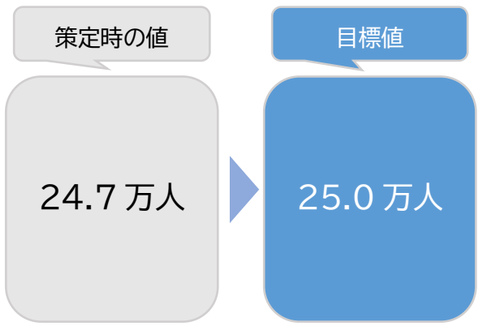
めざす姿を測る指標

1 過去１年間にまったくスポーツをしていない人の割合



出典）平川市市民意識調査

2 年間運動施設利用者数



出典）スポーツ課調べ

めざす姿を実現するための取組

1 ライフステージに応じたスポーツの充実

こどもの体力向上、運動習慣が定着しにくい成人への働きかけ、高齢者の介護予防、障がいのある方の参加促進など、それぞれのライフステージやニーズに応じたスポーツ・レクリエーション活動の充実を図ります。

2 スポーツを支える環境づくりと担い手の育成

誰もが安全・安心に利用できるスポーツ施設の整備を進めるとともに、スポーツ推進委員や指導者など地域スポーツを支える人材の育成・確保を図ります。

3 地域資源を活かしたスポーツ活動の推進

豊かな自然や地域資源を活かしたスポーツイベントやスポーツツーリズムの推進、競技スポーツの振興を通じて、市内外の交流拡大と地域のにぎわい創出を図ります。

4 芸術文化鑑賞機会の提供

文化ホール等でさまざまな芸術文化に触れる機会や発表機会の充実を図るとともに、文化財の保存・活用や伝統芸能の継承活動を通じて、地域文化の振興を進めます。

取組度合を測る指標

軽スポーツ巡回教室実施回数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
13 回	15 回	15 回

出典）スポーツ課、高齢介護課調べ

スポーツ推進委員数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
25 人	30 人	30 人

出典）スポーツ課調べ

スポーツイベントの参加者数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
1,190 人	1,295 人	1,400 人

出典）スポーツ課調べ

文化ホール自主事業の参加者数

基準値(R7)	中間目標（R13）	最終目標（R18）
3,900 人	4,000 人	4,000人

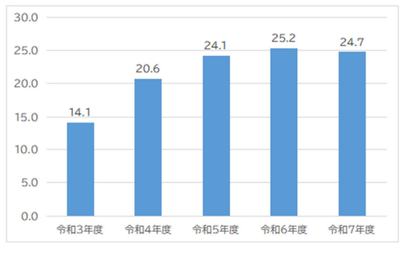
出典）生涯学習課調べ

平川市のいま

現状と課題

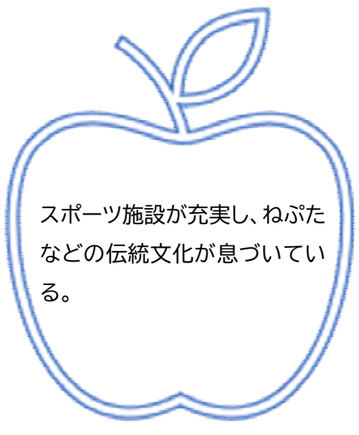
- ○ ライフスタイルの多様化により運動習慣の定着が課題となっており、ライフステージに応じて気軽にスポーツやレクリエーションに親しめる環境づくりが求められています。
- ○ 芸術文化活動への参加機会の充実と、多くの市民が参加しやすい環境づくりが求められています。
- ○ 文化財や伝統芸能の担い手不足や高齢化が進んでおり、保存・継承活動を支える人材の確保・育成が課題となっています。

スポーツ施設利用実績（万人）



出典）スポーツ課

みんなの意見





■関連する個別計画

○平川市スポーツ推進計画

個別目標1 稼ぐ力を高め、次世代に誇れる農林業を

対応する主なSDGsのゴール

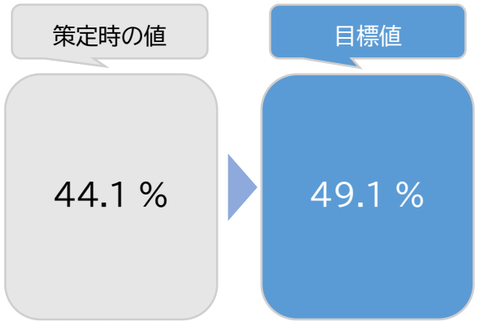
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 稼げる農業と地産地消の推進により、農林業が魅力ある産業として持続的に発展しています。
- ○ 多様な担い手が活躍し、スマート農業や生産基盤の整備により、効率的で安定した農業経営が行われています。
- ○ 豊かな農林資源や農村環境が次世代へ継承され、食と農を通じた交流が広がっています。

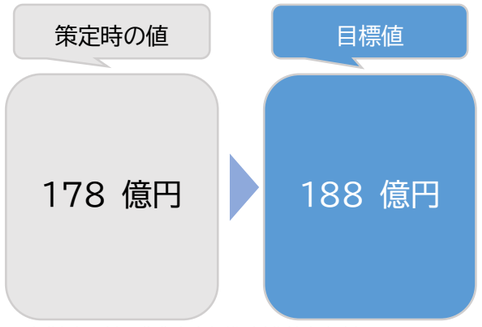
めざす姿を測る指標

1 農業の振興と担い手の確保に満足している人の割合



出典）平川市市民意識調査

2 農業産出額



出典）市町村別農業産出額推計（農林水産省）

めざす姿を実現するための取組

1 地域資源を活かした農業振興と魅力発信

農産物のブランド化や地域一体型6次産業化による農業所得の向上を図るほか、地産地消や食育の推進に加え、農業体験や農家民泊を通じた都市農村交流を促進し、平川市の食と農の魅力を広く発信します。

2 農業の持続的な発展を支える人材育成・確保

就農相談から経営定着までの一貫した支援を行うとともに、スマート農業の導入を進め、多様な担い手が活躍できる環境づくりを推進します。

3 農地の集積・集約化と農業生産基盤の確保

担い手への農地集積・集約化を進めるとともに、生産基盤や農業施設の整備・長寿命化を推進し、生産性向上を図ります。

4 環境に配慮した農業と森林資源の適正管理・利活用

環境保全型農業の推進と森林資源の適正な保全・活用を進め、持続可能な農林業の実現を図ります。

取組度合を測る指標

新規ブランド化・商品開発数（累計）

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
0 件	4 件	10 件

出典）農林課調べ

青年等就農計画の新規認定者数

基準値（R3～7）	中間目標（R8～13）	最終目標（R14～18）
18 人	21 人	25 人

出典）農林課調べ

農地の集積率

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
70.2%	73.0%	75.5%

出典）農林課調べ

環境保全型農業実施面積

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
43 ha	60 ha	69 ha

出典）農林課調べ

平川市のいま

現状と課題

- ○ 高品質な農産物を生産している一方で、消費者ニーズや販路の変化に対応しながら、付加価値向上や販売力強化による所得向上が求められています。
- ○ 農業者の高齢化や担い手不足が進む中、新規就農者の確保・育成やスマート農業の導入による持続可能な営農環境づくりが必要となっています。
- ○ 農地の集積・集約化や生産基盤の整備に加え、環境保全型農業や森林資源の適切な管理・活用を推進する必要があります。

りんご収穫の様子



出典）農林課

みんなの意見





■関連する個別計画

- ○平川市農業経営基盤強化促進基本構想
- ○平川市地域農業経営基盤強化促進計画
- ○平川市食育推進計画
- ○平川市産業振興に係る基本構想
- ○平川市森林整備計画

個別目標2 活気あふれる商工業の振興と働きやすい環境づくり

対応する主なSDGsのゴール



平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 商工業者の経営基盤が強化され、起業や企業誘致が進むことで、地域経済に活力が生まれています。
- ○ 多様な人材が能力を発揮しながら安心して働ける環境が整い、市内で働く場と仕事の選択肢が広がっています。
- ○ 商店街や事業者の活動が活発になり、にぎわいと魅力のあるまちとなっています。

めざす姿を測る指標

1 企業支援に満足している人の割合

策定時の値	目標値
次回調査実施時に追記	基準値の+5%

出典）平川市市民意識調査

2 市内立地企業の従業員数

策定時の値	目標値
3,865 人	4, 000人

出典）商工観光課調べ

めざす姿を実現するための取組

1 にぎわいのある商店街の育成

空き店舗を活用して起業する事業者の支援や、商工会との連携による経営支援の強化を図るほか、賑わい創出のために商店街が企画するイベントへの支援を行います。

2 労働力の確保・充実

市内企業の魅力発信を強化し、女性、高齢者、障がい者など多様な人材が能力を発揮できる働きやすい職場環境の整備やワーク・ライフ・バランスの啓発を推進します。

3 起業に対する支援の充実

起業支援の相談窓口の紹介や、特別保証融資制度の PR を強化するとともに、創業支援制度の充実に努めます。

4 企業の育成と誘致

独自技術の開発や新規事業、販路開拓など既存企業の経営基盤強化を支援するとともに、事業承継対策を推進します。また、広域連携等による企業誘致を推進するとともに、産業用地の確保に努めます。

取組度合を測る指標

空き店舗対策事業補助金交付件数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
3件	5件	5件

出典）商工観光課調べ

企業ガイドブックの閲覧回数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
1,572 回	1,650 回	1,730 回

出典）商工観光課調べ

創業支援事業補助金交付件数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
1件	3件	5件

出典）商工観光課調べ

地域産業支援事業補助金活用件数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
2件	3件	5件

出典）商工観光課調べ

平川市のいま

現状と課題

- ○ ネット通販等の普及により商店街での消費が伸び悩み、商店街の活力低下や空き店舗の増加が課題となっています。
- ○ 人手不足が進行する中、多様な人材が活躍できる働きやすい職場環境づくりや、企業の魅力発信の強化が求められています。
- ○ 創業や事業承継を支援するとともに、企業の経営基盤強化や新たな事業展開を後押しすることが必要です。
- ○ 企業誘致や空き店舗の活用を進め、地域経済の活性化と雇用機会の創出を図る必要があります。

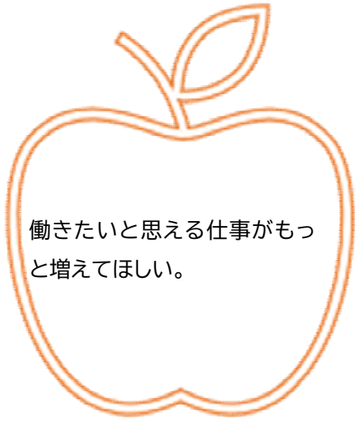
商店街イベントの様子



出典）商工観光課

みんなの意見





■関連する個別計画

○平川市創業支援等事業計画

個別目標3 地域資源を磨き、心おどる観光・物産に

対応する主な SDGsのゴール

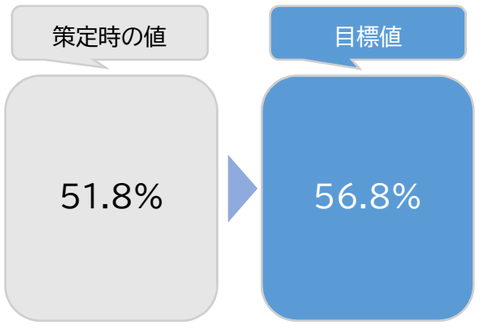
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 地域資源を活かしたコンテンツと施設を充実させ、四季を通じた滞在・周遊観光ができるまちになっています。
- ○ 周辺市町村と連携して戦略的に情報発信することで市の認知度が向上し、国内外から観光客が訪れています。

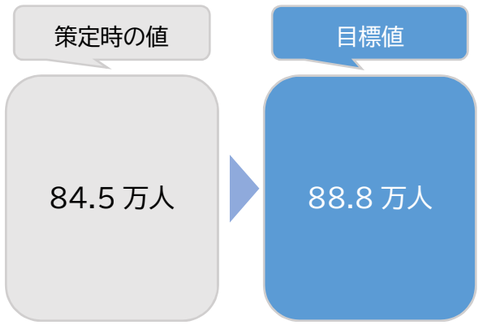
めざす姿を測る指標

1 観光イベントに満足している人の割合



出典)平川市市民意識調査

2 年間観光入込客数



出典)商工観光課調べ

めざす姿を実現するための取組

1 観光・物産の魅力向上と地域ブランドの発信

地域資源を活かした観光コンテンツの磨き上げに加え、農産物や加工品等の地域産品の開発・販売促進、観光と物産を一体とした情報発信を進めます。

2 広域で連携した観光振興の強化

県や ClanPEONY 津軽などとのつながりを強めて、広域の枠組みを活かした商品造成やプロモーションを行い、目的地だけでなく周遊地としても選ばれるような観光地域づくりを進めます。

3 台中市とのヒト・モノの交流と受入環境の整備

友好交流協定を結ぶ台中市とのヒトとモノの相互交流の拡大とともに、台湾以外の東アジアや東南アジア及び欧米豪からの誘客や、これらを見据えた受入環境の整備に取り組みます。

4 観光施設の整備と関係組織の体制強化

猿賀公園エリアや道の駅いかりがせき周辺などの観光施設の整備を図るとともに、観光振興に取り組む組織の体制強化を図り、市内観光資源の魅力を高めます。

取組度合を測る指標

市内宿泊施設宿泊者数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
42,000 人	43,300 人	44,100 人

出典)商工観光課調べ

ClanPEONY 津軽が販売する平川市を含んだ旅行商品数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
6件	8 件	10 件

出典)TimeTripTSUGARU 資料

外国人宿泊者数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
6,873 人	7,250 人	7,600 人

出典)商工観光課調べ

観光誘客 PR と受入態勢に満足している人の割合

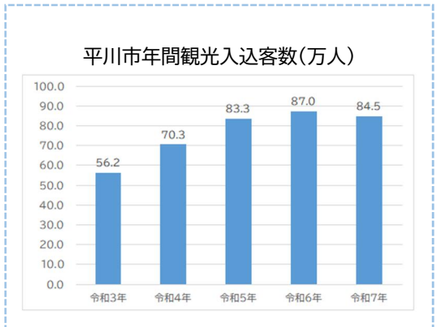
基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
40.8%	50.0%	60.0%

出典)平川市市民意識調査

平川市のいま

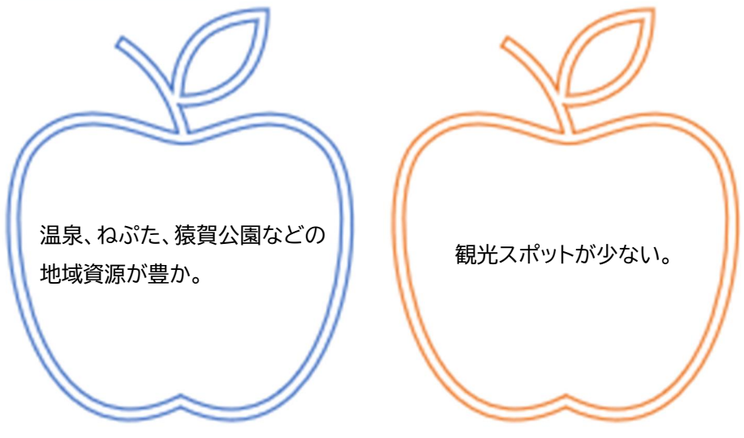
現状と課題

- ○ 観光施設の認知度不足や冬季の誘客減少が現状であり、地域資源を活かしたコンテンツの充実、計画的な施設改修を通じた滞在型観光への転換が必要です。
- ○ 個人や少人数での周遊旅行が増加する中、周辺市町村と連携した周遊観光のPR活動や旅行商品の開発が課題です。
- ○ 中華圏等の外国人客が多い一方、言葉や文化の壁による接客力不足があり、受入態勢の整備と、市民のおもてなし醸成が課題です。



出典)商工観光課

みんなの意見



■関連する個別計画

○猿賀公園エリア観光誘客ビジョン

個別目標1 よろこびを感じる生きがい活動を

対応する主な SDGsのゴール



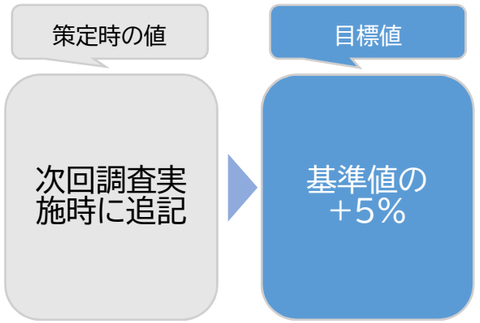
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 高齢者が地域活動や交流活動に積極的に参加し、生きがいや役割を持ちながらいきいきと暮らしています。
- ○ 培ってきた知識や経験を地域社会で生かし、多世代とのつながりの中で活躍できるまちとなっています。

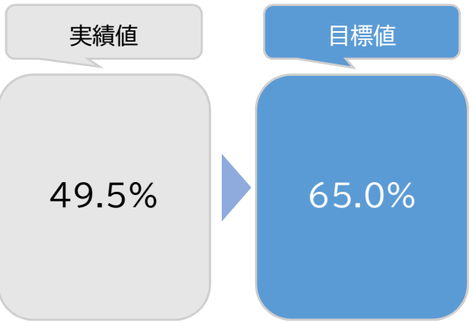
めざす姿を測る指標

1 高齢者の活動支援に満足している人の割合



出典)平川市市民意識調査

2 毎日の生活について「生きがいあり」と回答した人の割合



出典)第 10 期平川市介護予防･日常生活地域ニーズ調査

めざす姿を実現するための取組

1 通いの場の運営支援による社会参加の機会の確保

地域の介護予防や交流の拠点となる通いの場の活動を支援するとともに、参加促進に向けた周知を行い、高齢者の生きがいづくりや健康づくり、地域とのつながりの強化を図ります。

2 高齢者の就業機会の確保を中心とした社会参加の推進

シルバー人材センターと連携しながら高齢者の就業機会の確保を図るとともに、ボランティア活動や地域活動への参加を促進し、高齢者が活躍できる環境づくりを進めます。

3 高齢者の生きがい活動の推進

老人クラブ活動や世代間交流、軽スポーツ及び趣味活動への参加を支援し、高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進を図ります。

取組度合を測る指標

通いの場の延べ参加者数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
4,460 人	5, 060 人	5,660 人

出典)高齢介護課調べ

シルバー人材センター会員数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
191 人	201 人	211 人

出典)平川市シルバー人材センター資料

老人クラブ会員数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
808 人	818 人	828 人

出典)高齢介護課調べ

平川市のいま

現状と課題

- ○ 高齢化の進行に伴い、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加しており、社会参加や交流の機会の確保、生きがいを持って暮らせる環境づくりが求められています。
- ○ 高齢者の閉じこもりやフレイルを予防するため、身近な地域で交流や健康づくりに参加できる場の充実が必要となっています。
- ○ 退職後も地域活動や就労に意欲を持つ高齢者が増えていることから、知識や経験を生かして活躍できる機会の確保が求められています。

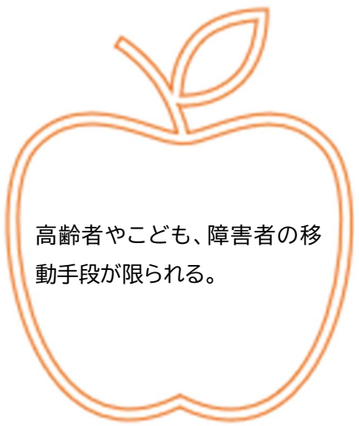
通いの場の様子



出典)高齢介護課

みんなの意見





■関連する個別計画

○介護保険事業計画高齢者保健福祉計画

個別目標2 地域が支え合う包括ケアシステムの充実を

対応する主なSDGsのゴール



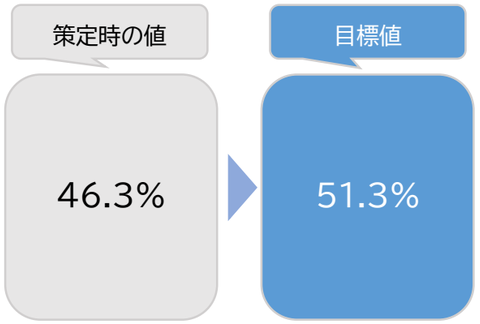
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を続けることができています。
- ○ 住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供され、地域全体で高齢者を支え合う仕組みが整っています。

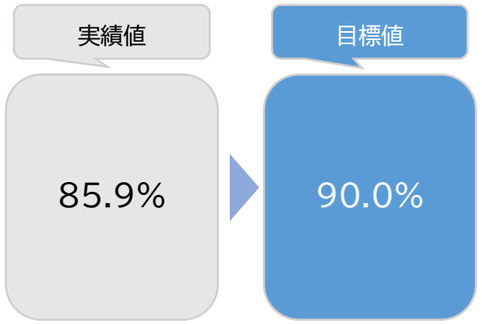
めざす姿を測る指標

1 生活支援や介護などの高齢者福祉に満足している人の割合



出典）平川市市民意識調査

2 総合相談から適切な支援に繋がった割合（終結件数）



出典）高齢介護課調べ

めざす姿を実現するための取組

1 相談体制機能の強化

地域包括支援センターを中心に、高齢者やその家族が抱える複雑・多様な課題に対応できる相談支援体制の充実を図るとともに、関係機関との連携強化により適切な支援につなげます。

2 認知症支援の充実

認知症の早期発見・早期支援を推進するとともに、認知症サポーターの養成や認知症カフェの開催を通じて新しい認知症観の普及啓発に努め、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを進めます。

3 在宅医療・介護サービスの連携強化

医療機関や介護サービス事業者等との連携を強化し、在宅医療と介護サービスが切れ目なく提供される体制づくりを進め、高齢者が地域で安心して暮らし続けられる環境を整えます。

取組度合を測る指標

総合相談者数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
652 人	929 人	1, 206 人

出典）高齢介護課調べ

認知症サポーター数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
4,133 人	4,230 人	4,330 人

出典）地域共生政策自治体連携機構資料

医療機関・サービス事業所と連携し対応した相談延べ件数

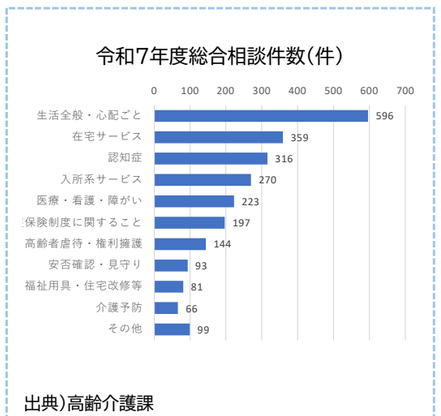
基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
436 件	733 件	1,030 件

出典）高齢介護課調べ

平川市のいま

現状と課題

- ○ 高齢化の進行に伴い、認知症高齢者や医療・介護ニーズの高い高齢者が増加しており、多様化・複雑化する課題に対応した相談支援体制の充実が求められています。
- ○ 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療機関や介護サービス事業所等との連携強化による在宅医療・介護提供体制の充実が必要です。
- ○ 認知症への理解促進と早期発見・早期支援を進めるとともに、地域で見守り支え合う体制づくりを推進する必要があります。



出典）高齢介護課

みんなの意見





■関連する個別計画

○介護保険事業計画高齢者保健福祉計画

個別目標3 一人ひとりの安心を支える地域福祉を

対応する主なSDGsのゴール



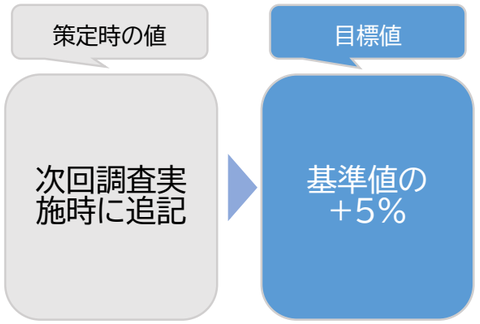
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 地域住民や関係団体が互いに支え合い、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちとなっています。
- ○ 地域のつながりの中で困りごとや支援ニーズを早期に発見し、必要な支援やサービスにつながる体制が整っています。
- ○ 一人ひとりが地域社会の担い手として活躍し、多様な人々が支え合いながら共に暮らす地域共生社会が実現しています。

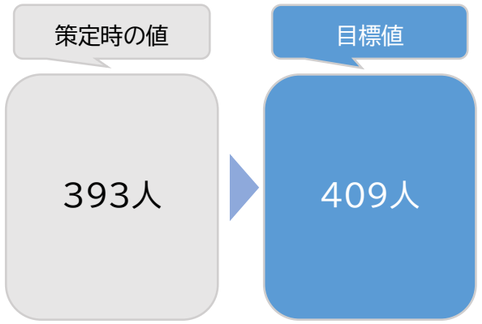
めざす姿を測る指標

1 地域福祉に満足している人の割合



出典）平川市市民意識調査

2 ほのぼの交流協力員（見守りボランティア）の人数



出典）市社会福祉協議会資料

めざす姿を実現するための取組

1 地域福祉計画の推進

地域福祉計画に基づき、住民、事業者、関係機関等が連携しながら見守りや助け合い活動を推進し、地域共生社会の実現を図ります。

2 福祉意識の高揚と啓発

地域福祉への理解促進や福祉意識の向上を図るため、学習機会や啓発活動の充実を進め、住民一人ひとりが支え手として活躍できる地域づくりを推進します。

3 民生委員・児童委員、社会福祉協議会等との連携強化

民生委員・児童委員や社会福祉協議会、関係機関との連携を強化し、地域の福祉課題を把握するとともに、支援を必要とする人を適切なサービスや相談支援につなげる体制の充実を図ります。

取組度合を測る指標

見守りボランティア活動回数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
3,500 回	3,572 回	3,644 回

出典）福祉課調べ

生活支援研修会参加者数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
187 人	256 人	326 人

出典）福祉課調べ

民生委員の充足率

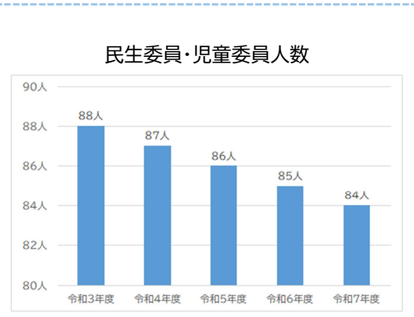
基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
93.3%	96.6%	100%

出典）福祉課調べ

平川市のいま

現状と課題

- ○ 少子高齢化や人口減少、ライフスタイルの変化により地域のつながりが希薄化しており、支え合いによる地域福祉活動の維持・充実が課題となっています。
- ○ 支援を必要とする人を地域で早期に発見し、適切なサービスや専門機関につなげるため、住民の福祉意識の向上と地域ぐるみの見守り体制の強化が求められています。
- ○ 福祉ニーズの複雑化・多様化が進む中、民生委員・児童委員等の担い手確保や関係機関との連携強化が必要となっています。



出典）福祉課

みんなの意見





■関連する個別計画

○平川市地域福祉計画

個別目標1 安全・安心に住み続けられる居住環境を

対応する主なSDGsのゴール



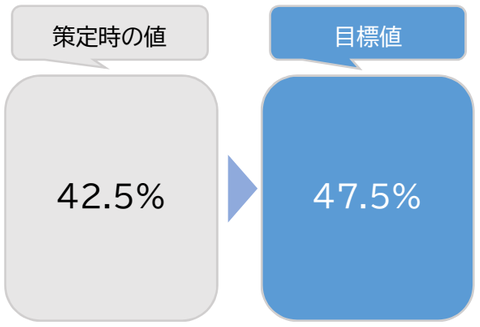
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 民間事業者による良好な宅地開発が進むとともに、市営住宅が計画的かつ適正に維持管理され、誰もが安全で快適に住み続けられる居住環境が確保されています。
- ○ 空家等の発生予防と適切な管理、老朽化した危険な空家等の除却が進むとともに、利活用可能な空家等が住まいや地域活性化の資源として有効に活用されています。

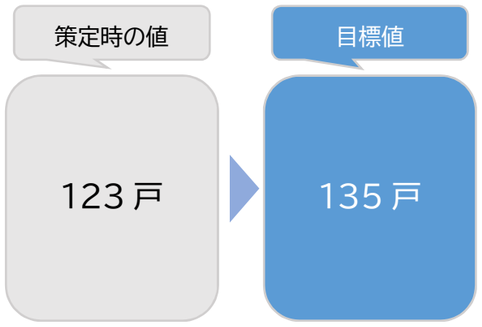
めざす姿を測る指標

1 居住環境整備の支援対策に満足している人の割合



出典）平川市市民意識調査

2 新築・売買された住宅数



出典）経営戦略課調べ

めざす姿を実現するための取組

1 新たな居住環境の整備

民間事業者が行う宅地開発に対し、必要な支援を行います。また、社会情勢の変化を踏まえながら、需要に合わせた施策の構築に努めます。

2 公営住宅の維持管理

公営住宅等長寿命化計画に基づく維持・管理を行い、公営住宅の安全性の向上や長寿命化を図ります。

3 空家等の有効活用

利活用可能な空家等の情報発信や取得・改修への支援を行い、空き家・空き地バンクの活用を通じて、移住・定住と地域の活性化を促進します。

4 空家の管理・発生予防・抑制

空家の適切な管理がなされるよう、所有者等への意識啓発・周知に努めます。また、利用目的のない空家については、地域の居住環境が安全・安心なものとなるよう、除却に対する支援策の構築に努めます。

取組度合を測る指標

民間事業者による宅地分譲区画数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
8区画	9区画	10区画

出典）建築住宅課調べ

公営住宅入居戸数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
79戸	80戸	80戸

出典）福祉課調べ

空き家・空き地バンクの新規登録件数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
12件	15件	18件

出典）弘前圏域空き家・空き地バンク資料

補助金を活用した空家の解体件数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
8件	9件	10件

出典）建築住宅課調べ

平川市のいま

現状と課題

- ○ 若者世代や子育て世代を中心に住宅建築が進んでおり、市内の居住ニーズを的確に把握しながら、民間事業者と連携して需要に応じた宅地を確保する必要があります。
- ○ 利活用可能な空家等については、所有者への働きかけや情報発信を行い、空き家・空き地バンクへの登録と成約につなげていくことが課題です。
- ○ 適切に管理されていない空家等は、倒壊や不審火などにより周辺の生活環境へ悪影響を及ぼすおそれがあるため、発生予防や適正管理、危険な空家等の除却を総合的に進める必要があります。

民間宅地開発の様子



出典）建築住宅課

みんなの意見





■関連する個別計画

○平川市空家等対策計画
○公営住宅等長寿命化計画

個別目標2 暮らしを支える持続可能な基盤整備を

対応する主なSDGsのゴール



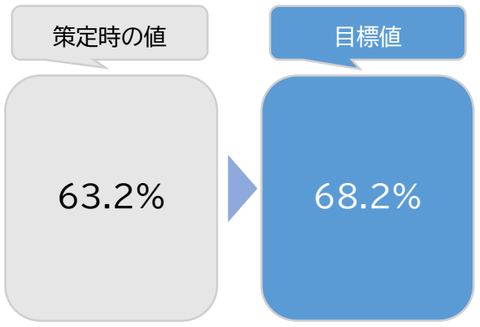
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 道路や上下水道、公園、公共交通などの基盤が適切に維持・整備され、誰もが安全・安心に暮らしています。
- ○ 快適で利便性の高い生活環境が確保され、将来にわたり住み続けたいと思えるまちとなっています。

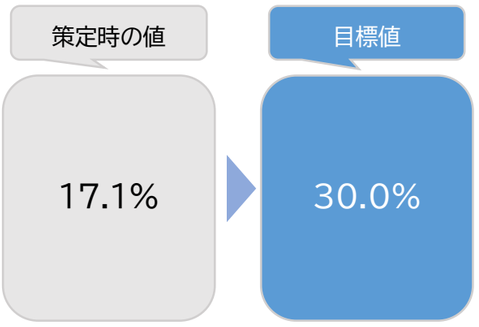
めざす姿を測る指標

1 道路の使いやすさや維持管理に満足している人の割合



出典）平川市市民意識調査

2 行政手続きのオンライン利用率



出典）経営戦略課調べ

めざす姿を実現するための取組

1 安全で快適な道路環境と除排雪体制の確保

幹線道路及び生活道路の計画的な整備と、道路・橋梁の点検、修繕及び長寿命化を進めます。また、除雪管理システム等を活用し、効率的できめ細かな除排雪体制を確保します。

2 安全で持続可能な生活基盤の維持

上下水道施設及び公園の定期的な点検、計画的な更新、修繕及び耐震化を進め、安全な水の供給と衛生的で快適な生活環境を確保します。

3 持続可能で利用しやすい地域公共交通の確保

地域の実情や利用者ニーズに応じ、鉄道、路線バス及び乗合タクシー等の公共交通を維持・確保するとともに、運行経路やダイヤの見直しにより、利便性の向上と利用促進を図ります。

4 DX の推進による行政サービスの効率化と利便性向上

行政手続きのオンライン化や各種業務のデジタル化を進め、行政事務を効率化し、市民が必要な行政サービスを快適に受けられる環境を整えます。

取組度合を測る指標

橋梁の修繕実施率

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
12.3%	28.4%	43.8%

出典）建設課調べ

重要給水施設管路の耐震化率

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
6.3%	49.1%	74.3%

出典）上下水道課調べ

公共交通利用者数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
30 万人	30 万人	30 万人

出典）経営戦略課調べ

オンライン化した行政手続き

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
67 件	80 件	100 件

出典）経営戦略課調べ

平川市のいま

現状と課題

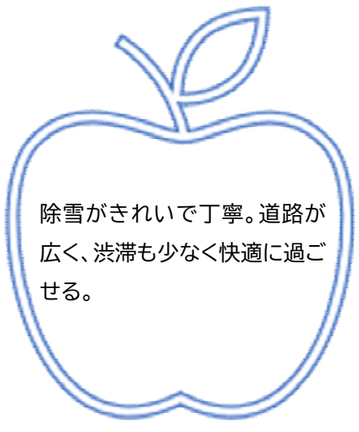
- ○ 財源・人員が限られる中、道路、橋梁、上下水道、公園等の老朽化対策、効率的な除排雪、持続可能な公共交通の確保、適正な土地利用、デジタル技術の活用が求められています。
- ○ 多様化する住民ニーズに対応した公園施設の更新・機能充実が必要です。
- ○ 人口減少による収益減少が見込まれる中、配水管の耐震化、老朽管・下水道施設の計画的な更新と、上下水道事業の経営安定化が課題です。
- ○ 公共交通の利用者数はおおむね横ばいですが、人口減少や自家用車への依存、担い手不足などにより、公共交通の維持が課題となっています。

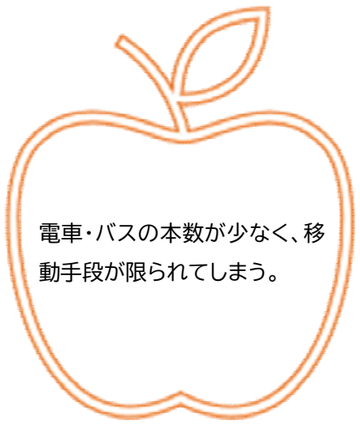
水洗化率の現状

	合計	公共下水道	特定環境保全公共下水道	農業集落排水	特定地域生活排水処理
処理区域面積	1,221ha	843ha	74ha	303ha	1ha
処理区域内人口	28,463人	21,963人	1,297人	5,174人	29人
水洗化済人口	24,126人	18,854人	941人	4,302人	29人
水洗化率	84.8%	85.8%	72.6%	83.1%	100.0%

出典）上下水道課

みんなの意見





■関連する個別計画

- ○ 平川市都市計画マスタープラン
- ○ 平川市立地適正化計画
- ○ 平川市公園施設長寿命化計画
- ○ 平川市地域公共交通計画
- ○ 平川市橋梁長寿命化修繕計画
- ○ 平川市水道事業経営戦略
- ○ 平川市下水道事業経営戦略
- ○ 平川市公共施設等総合管理計画
- ○ 平川市国土強靭化地域計画
- ○ 平川市地域防災計画
- ○ 平川市 DX 推進計画
- ○ 都市再生整備計画

個別目標3 命を守る、災害に強い防災体制

対応する主なSDGsのゴール



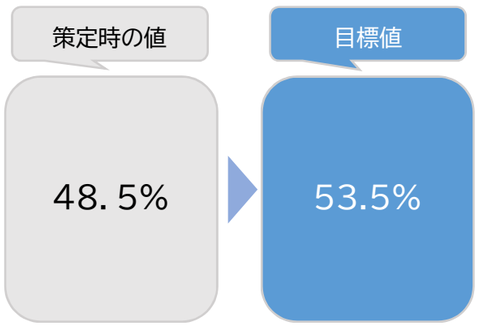
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 防災体制と情報伝達体制の整備・充実が進み、災害に強い安全で安心なまちとなっています。
- ○ 自主防災組織の活動支援と防災士育成事業を通じて、地域防災力が向上しています。
- ○ 地域の消防力が強化され、避難所環境の整備・充実が進み、災害に強いまちとなっています。

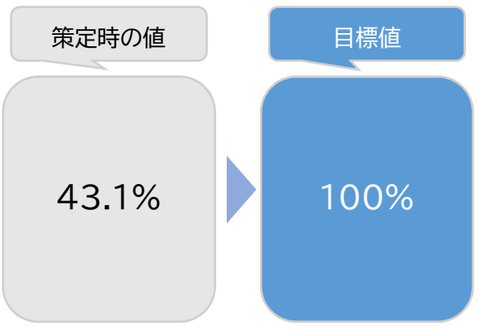
めざす姿を測る指標

1 **災害に対する備えや安心感に満足している人の割合**



出典）平川市市民意識調査

2 **防災士を配置する自主防災組織率**



出典）総務課調べ

めざす姿を実現するための取組

1 **防災情報伝達手段の多重化・利用登録の推進**

多様な通信手段で確実な情報伝達を図るため、防災訓練や広報等での積極的な周知を行い、防災アプリや防災メールの登録者数を増加させます。

2 **避難所環境の整備**

小中学校体育館への冷房設備の設置や要配慮者に対応した避難所の整備、青森県災害備蓄指針に基づく備蓄品の整備等により、避難所環境の改善を図ります。

3 **担い手の確保・育成による地域防災力の強化**

防災訓練の合同実施や小学校区を単位とした連合体を組織するなど、自主防災組織間の連携を強化するとともに、地域の防災リーダーとなる防災士の養成推進や消防団員の確保により、地域防災力の向上を図ります。

4 **建築物等の耐震化の推進**

木造住宅の耐震診断や改修事業の制度を広く周知し、危険な住宅の耐震化を促進するほか、通学路等のブロック塀の除却や改修を進め、安全な住環境の確保を図ります。

取組度合を測る指標

防災アプリ・防災メール登録者数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
8,901 人	20,000 人	20,000 人

出典）総務課調べ

小中学校体育館への冷房設置率

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
0%	100%	100%

出典）総務課調べ

自主防災組織間の連携組織数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
6組織	30 組織	51 組織

出典）総務課調べ

住宅の耐震化率

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
78.4%	おおむね解消	おおむね解消

出典）建築住宅課調べ

平川市のいま

現状と課題

- ○ 新たな防災気象情報や小規模河川の浸水想定区域の拡大、地震リスク等を踏まえ、住民への周知と迅速な避難行動につなげるため、確実な情報伝達や対策の強化、災害に備えた市民の意識醸成が必要です。
- ○ 小中学校体育館を指定避難所としていますが、冷房設備や乳幼児・妊産婦等の要配慮者に配慮した専用スペースの設置など、避難所環境のさらなる改善が必要です。
- ○ 自主防災組織において、組織率や世帯カバー率は全国的に高い水準にあるものの、若い世代の担い手不足や高齢化による活動の維持・停滞などがあります。

防災訓練の様子



出典）総務課

みんなの意見





■関連する個別計画

- ○平川市地域防災計画
- ○平川市耐震改修促進計画

個別目標4 交通安全・防犯体制の充実を

対応する主なSDGsのゴール



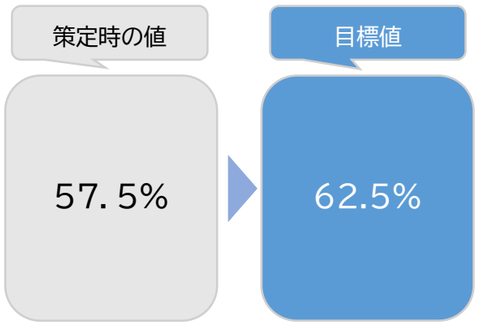
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 交通安全対策や防犯対策が地域全体で推進され、こどもから高齢者まで誰もが安全・安心に暮らせるまちとなっています。
- ○ 市民や関係機関との連携により、交通事故や犯罪の不安が少なく、安心して日常生活を送ることができる地域社会が形成されています。

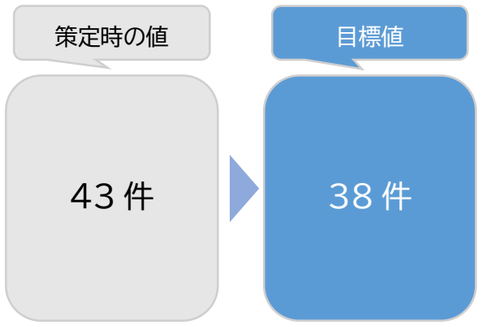
めざす姿を測る指標

1 交通安全対策に満足している人の割合



出典）平川市市民意識調査

2 犯罪発生件数（刑法犯）



出典）市民課調べ

めざす姿を実現するための取組

1 交通安全活動の推進

交通安全モラルの向上を図るため、交通安全の意識啓発を図るほか、交通安全協力団体の育成と活動の推進を支援します。

2 交通安全施設の充実

通学路における横断歩道の設置やブロック塀の安全性の点検、ガードレールやカーブミラーなどの整備を進めるとともに、関係機関と連携し、適正な交通安全施設の設置に努めます。

3 防犯活動の推進

犯罪の未然防止や防犯意識の向上を図るため、警察や防犯協力団体などと連携し、防犯活動を推進するほか、消費者トラブルに対する消費者保護の制度周知やサイバー犯罪に対する注意喚起を行います。

4 防犯施設の充実

犯罪防止や夜間の歩行者などの安全を守るため、適正な防犯灯の維持管理に努め、安全・安心な環境づくりを推進します。

取組度合を測る指標

交通安全教室・啓発活動実施回数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
4回	4回	4回

出典）市民課調べ

カーブミラーの新設件数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
5件	5件	5件

出典）市民課調べ

消費者被害・特殊詐欺防止啓発実施回数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
4回	4回	4回

出典）市民課調べ

防犯灯の新設件数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
6件	5件	5件

出典）市民課調べ

平川市のいま

現状と課題

- ○ 市内における交通事故の発生件数及び負傷者数はともに減少傾向にありますが、交通事故発生を防止するには、関係機関と協力して啓発活動に取組むとともに、効果的な交通安全対策を実施する必要があります。
- ○ インターネットなどの普及により、多種多様な犯罪が増加しているため、家庭、地域、関係機関が一体となって防犯体制の強化を図り、安心してくらせるまちづくりを進める必要があります。

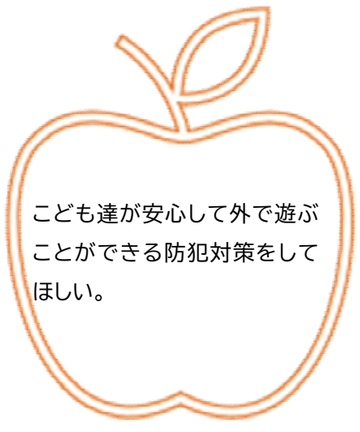
交通事故発生件数の推移

	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
発生件数	55件	42件	54件	46件	33件
傷者数	61人	44人	67人	53人	39人
死者数	0人	1人	3人	1人	1人

出典）黒石警察署

みんなの意見





■関連する個別計画

個別目標5 未来につなげる脱炭素・循環型社会に

対応する主なSDGsのゴール



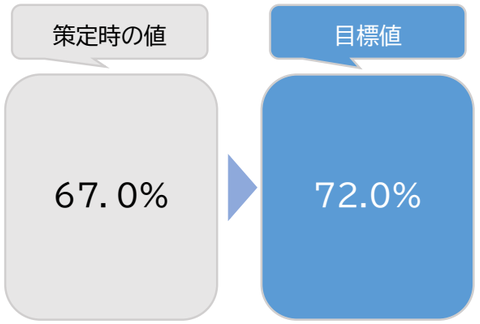
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ ごみの減量化や資源循環、脱炭素化の取組が地域全体に広がり、環境負荷の少ないまちとなっています。
- ○ 豊かな自然環境が守られ、次世代へ良好な環境を引き継ぐことができる持続可能な地域社会が形成されています。

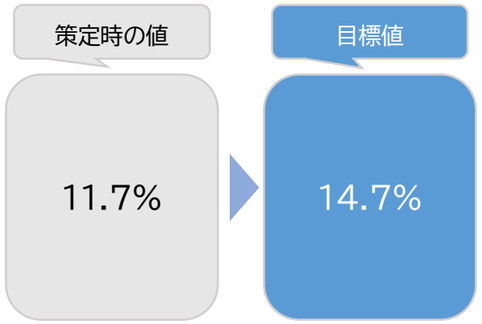
めざす姿を測る指標

1 各種ごみの収集と処理サービスに満足している人の割合



出典）平川市市民意識調査

2 市回収分のリサイクル率



出典）市民課調べ

めざす姿を実現するための取組

1 ごみの適正処理と不法投棄防止の推進

市民や事業者に対し、ごみの適正処理に関する意識啓発を行います。また、関係機関との連携や監視カメラの設置等により、不法投棄の監視体制を強化し、未然防止と早期発見・解決を図ります。

2 ごみの減量化・再資源化と食品ロス削減の推進

市民や事業者への意識啓発や資源物回収ステーションの整備により、ごみの減量化・再資源化を推進するほか、地域団体へ助成を行い、集団回収を促進します。

3 公害防止対策の充実

大気汚染の防止に関する意識啓発や、ごみ・稲わらなどの屋外焼却防止の周知徹底などにより、公害防止対策を図ります。

4 脱炭素・再生可能エネルギー活用の推進

脱炭素社会の実現につながる効果的な事例紹介を行うなど、市民や事業者へ脱炭素に関する情報を提供します。

取組度合を測る指標

不法投棄対応件数、パトロール実施回数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
3件・12回	5件・12回	5件・12回

出典）市民課調べ

1人1日当たりの家庭ごみの量

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
503g	480g	480g

出典）市民課調べ

公害苦情・相談への対応件数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
7件	5件	5件

出典）市民課調べ

脱炭素・再生可能エネルギー関連取組件数

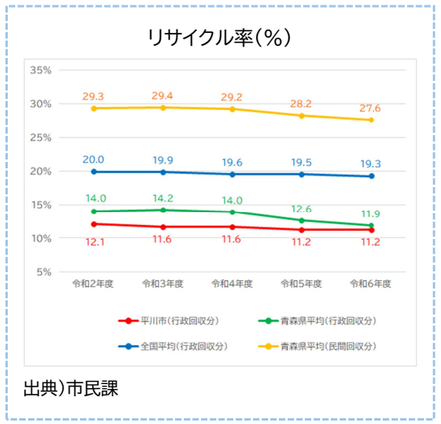
基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
0件	5件	5件

出典）市民課調べ

平川市のいま

現状と課題

- ○ ごみの出し方はごみ収集カレンダーなどにより周知していますが、資源物の未分別などが見られます。不法投棄も見られ、引き続きごみ問題に対する意識啓発の必要があります。
- ○ 燃やせるごみ、燃やせないごみ、粗大ごみについては有料収集しています。また、資源物についてはプラスチックの一括回収を行い、ごみの減量化・再資源化を推進しています。
- ○ 国は2050年までに脱炭素社会の実現を目指すこととしており、目標達成には一人ひとりが地球環境に対する正しい知識を持ち、適切に実施していくことが求められます。



出典）市民課

みんなの意見

自然が豊かで、空気がおいしい。

ごみのポイ捨てがあり、街中にごみが落ちているのが残念。

■関連する個別計画

- ○平川市環境基本計画
- ○平川市ごみ処理基本計画

個別目標6 自分らしく輝き続ける健康づくり

対応する主なSDGsのゴール

平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組み、心身ともに健康で自分らしく暮らしています。
- ○ 必要な医療や支援を安心して受けられる環境が整い、健康でいきいきと活躍できるまちとなっています。

めざす姿を測る指標

1 健康推進活動に満足している人の割合

策定時の値	目標値
61.7%	66.7%

出典)平川市市民意識調査

2 0歳の平均余命※（全国平均との差）

策定時の値	目標値
男 80.5年（−0.6年） 女 86.6年（−0.6年）	男女ともに全国平均以上

出典)国保データベース(KDB)

めざす姿を実現するための取組

1 疾病予防と健康診査の充実

健康診査については、効果的な周知に努め、医師会と連携して受診機会の拡大を図ります。また、生活習慣病の保健指導や受診勧奨を徹底し、重症化予防を推進するほか、予防接種の重要性に関する啓発と負担軽減に取り組みます。

2 進んで取り組む健康づくりへの支援

地域の団体に対し健康相談・健康教育を実施し、市民が主体的に健康づくりを実践できるよう支援します。また、保健協力員や食生活改善推進員の活動を広く周知し、健康や食生活に関する正しい知識の普及啓発を図ります。

3 こころの健康づくりへの支援

こころの健康に関する知識の普及啓発を図り、うつ病の早期発見へ向けたスクリーニングを実施します。また、専門家による相談窓口の定期開設や傾聴ボランティアによる傾聴サロンの開催に加え、ゲートキーパー養成などの人材育成に努めます。

4 安心できる地域医療の確保

初期医療はもちろん、慢性期医療を必要とする多くの高齢者が安心して医療サービスを受けることができるよう、診療施設や設備を整備しつつ、津軽地域医療圏域における役割を担うよう、医療サービスの充実を図ります。

取組度合を測る指標

特定健診受診率

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
47.0%	60.0%	60.0%

出典)厚生労働省資料

メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
34.9%	32.0%	31.5%

出典)厚生労働省資料

3年間平均自殺死亡率(人口10万人当たり)

基準値（R3～R7平均）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
19.6	10.0以下	10.0以下

出典)厚生労働省資料

市国保診療施設の延べ利用者数

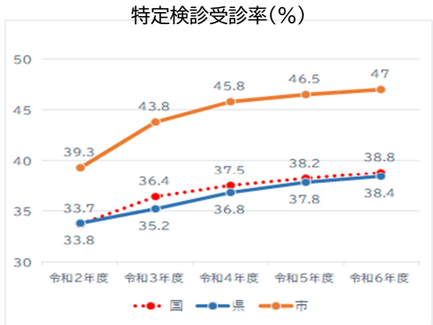
基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
19,200人	19,250人	19,300人

出典)平川診療所調べ

平川市のいま

現状と課題

- ○ 本市の主要な死亡原因は、がんや脳血管疾患、心疾患であり、生活習慣の改善による疾病予防が必要となります。
- ○ 疾病の早期発見・早期治療のためには、健康診査や各種検診の受診が重要であり、受診率向上が必要となります。
- ○ 近年、自殺者数は減少傾向ですが、増加に転じる年もあることから、こころの健康問題を抱えている人への支援を続ける必要があります。
- ○ 高齢者をはじめ住民の健康を継続して守るため、安定した医療提供体制の確保に向け、津軽地域医療圏域における救急医療、高度医療及び専門医療の医療機関との連携を深める必要があります。



出典)特定健康診査・保健指導の実施状況報告（厚生労働省）

みんなの意見





※平均余命
ある年齢の人が、平均してあと何年生きるかを示す年数
0歳児の平均余命が平均寿命

■関連する個別計画

- ○健康ひらかわ21
- ○平川市国民健康保険保健事業実施計画・特定健康診査等実施計画
- ○平川市自殺対策計画

個別目標7 互いに認め支え合う共生社会を

対応する主なSDGsのゴール



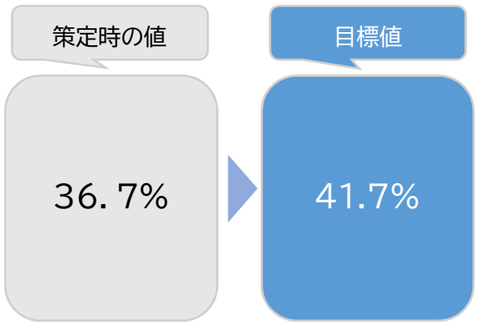
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 年齢や性別、障がいの有無や文化・習慣の違いなどにかかわらずお互いの人権を尊重し、認め合いながら地域生活を送れる環境が実現しています。
- ○ 男女共同参画を推進し、ワーク・ライフ・バランス及び多様な幸せ（ウェルビーイング）が実現しています。
- ○ 障がい者一人ひとりのニーズに合わせた充実した就労支援体制の整備、生活困窮者への専門的な支援体制構築など、包括的な支援体制が整っています。

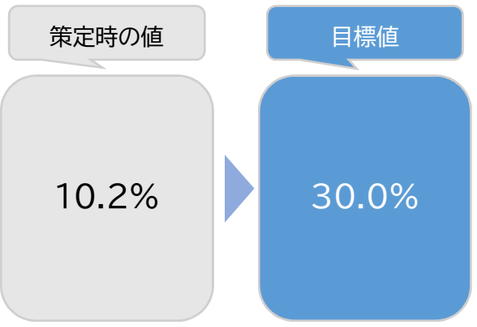
めざす姿を測る指標

1 男女共同参画・女性の参画推進に満足している人の割合



出典）平川市市民意識調査

2 市内立地企業事業所における管理職に占める女性の割合



出典）生涯学習課調べ

めざす姿を実現するための取組

1 市の各種審議会における女性委員の登用促進

政策等に多様な視点を反映するため、各種審議会への女性委員の登用を促進し、政策・方針決定過程における男女共同参画の推進を図ります。

2 福祉的就労の場の確保

障がい者の就労に向けた日中活動系サービス（就労移行支援、就労継続支援、就労選択支援）の利用支援のため、周知などを行うことで相談支援事業を促進します。

3 生活困窮者自立相談支援の促進

就労準備が整っていない生活困窮者や家計に問題を抱える生活困窮者に対する支援体制として、各々の状況に応じた支援プランの作成や専門的な助言等により、早期に生活再建できるよう支援に努めます。

取組度合を測る指標

市審議会等委員に占める女性の割合

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
28.1%	30、0%	30、0%

出典）生涯学習課調べ

就労系サービス利用者数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
160 人	195 人	230 人

出典）福祉課調べ

生活困窮者自立相談支援年間新規受付件数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
78 件	130 件	180 件

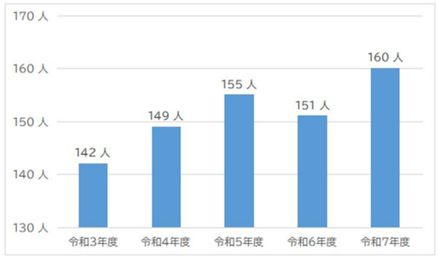
出典）福祉課調べ

平川市のいま

現状と課題

- ○ 年齢や性別、障がいの有無や国籍の違いなどによらず、差別や偏見なく誰もが暮らせる社会が求められています。
- ○ 固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みに対し、男女共同参画への理解を深め、政策・方針決定過程への女性参画や男性の家庭生活への参画を進める必要があります。
- ○ 障がい者が経済的に自立し地域で安定した生活を送るための取組が必要です。また、多様化するニーズに対応するため、専門性を備えた相談窓口の充実が課題となっています。
- ○ 生活困窮の支援を必要とする方が相談窓口につながらず潜在化することや、育児、介護など複数の課題を抱え、既存制度では対応が難しいケースが増えています。

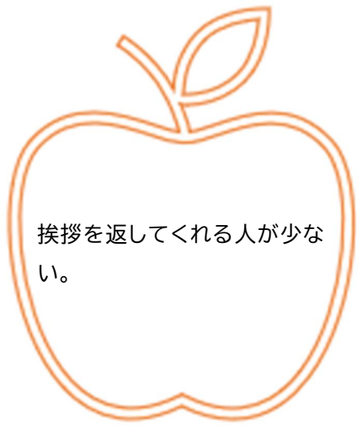
就労系サービス利用者数



出典）福祉課

みんなの意見





■関連する個別計画

- ○平川市男女共同参画推進プラン
- ○平川市障がい者計画
- ○平川市地域福祉計画

個別目標1 選ばれ、住み続けたくなる移住・定住対策を

対応する主なSDGsのゴール

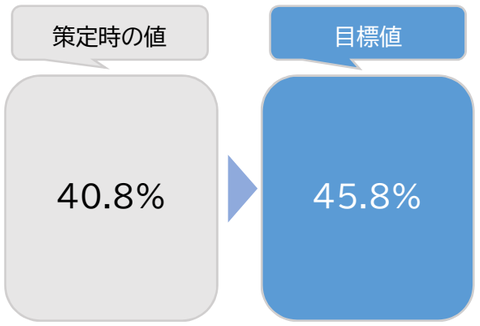
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 若者や子育て世代をはじめ、多くの人に選ばれ、安心して住み続けられるまちとなっています。
- ○ 子育て、就業、住宅及び生活支援が一体的に提供されるとともに、移住希望者への相談対応や効果的な情報発信により、転入の促進と転出の抑制が進んでいます。
- ○ 移住を希望する人の不安が軽減され、市外から選ばれるとともに、市民や移住者が安心して住み続けたいと思えるまちとなっています。

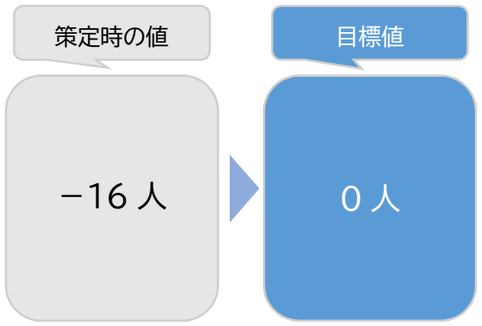
めざす姿を測る指標

1 **移住・定住の支援対策に満足している人の割合**



出典)平川市市民意識調査

2 **社会増減数※**



出典)平川市人口動態統計

めざす姿を実現するための取組

1 住みよさと移住関連情報の発信強化

子育て、仕事、住まいなどの本市の魅力や移住関連情報を効果的に発信するとともに、移住希望者からの相談に対応します。

2 移住体験と受入環境の充実

移住体験や相談体制を充実させ、県外からの移住希望者の不安を軽減し、移住の実現を支援します。

3 移住・定住につながる支援の充実

市内への移住・定住を促進するため、暮らしの安定や生活基盤の確保など、幅広い世代のニーズに応じた支援の充実を図ります。

4 定住推進に向けた居心地の良い空間づくり

多世代が住みたいと思えるまちを目指し、生活の質の向上や新たな活動の創出に向け、平賀駅周辺を中心として、人が集い、くつろぎ、ふれあう、居心地の良い空間づくりを進めます。

取組度合を測る指標

移住・定住相談件数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
16 件	20 件	20 件

出典)経営戦略課調べ

移住支援事業を活用して移住してきた人数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
130 人	130 人	130 人

出典)経営戦略課調べ

奨学金返還支援の延べ申請者数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
42 人	130人	180 人

出典)みらい戦略課調べ

街並みや景観に満足している人の割合

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
59.4%	64.4%	69.4%

出典)平川市市民意識調査

平川市のいま

現状と課題

- ○ 生産年齢人口の減少に伴い、労働力や地域の担い手の不足、税収の減少が懸念されており、公共交通やインフラなど、地域社会の機能を維持することが課題となっています。
- ○ 住宅取得支援や移住促進施策、情報発信などにより、転入促進と転出抑制に一定の成果が見られる一方、若者世代の転出等による人口減少は続いており、若者・子育て世代の定住を進める必要があります。
- ○ 転入・転出の理由やニーズを継続的に把握し、各種支援を一体的に進めるとともに、対象に応じた戦略的な情報発信により、転入促進と転出抑制を図る必要があります。

平川市の転入数・転出数・社会増減数

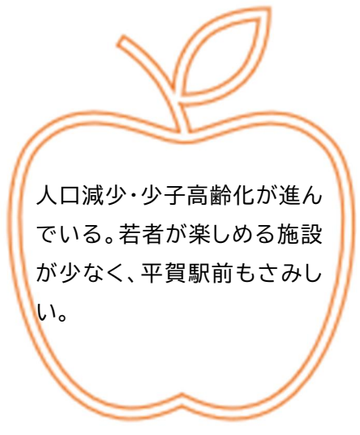


※R7 最新値反映、自然増減に関する値の削除は別途対応

出典)住民基本台帳人口移動報告(総務省)

みんなの意見





※社会増減数
市外から転入した人の数から、市外へ転出した人の数を差し引いた数値
プラスの場合は「社会増」、マイナスの場合は「社会減」を表す

■関連する個別計画

- ○平川市都市計画マスタープラン
- ○平川市立地適正化計画
- ○弘前定住自立圏共生ビジョン

対応する主なSDGsのゴール

個別目標2 互いに支え合い、つながりを育むコミュニティ活動を

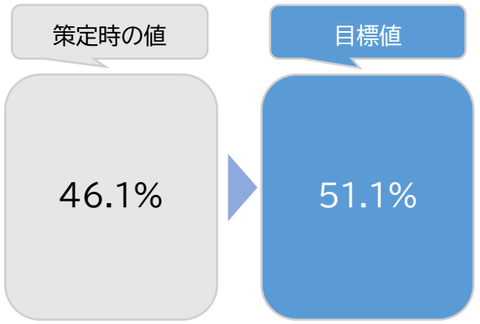
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 地域住民が互いに支え合い、地域課題の解決や防災、交流活動に主体的に取り組む、つながりのある地域コミュニティが形成されています。
- ○ 町会への加入や活動への参加が促進されるとともに、地域運営組織が地域の実情に応じて主体的・継続的に運営されています。
- ○ 集会施設が、防災拠点及び地域コミュニティ活動の拠点として、安全で快適に利用できる状態が確保されています。

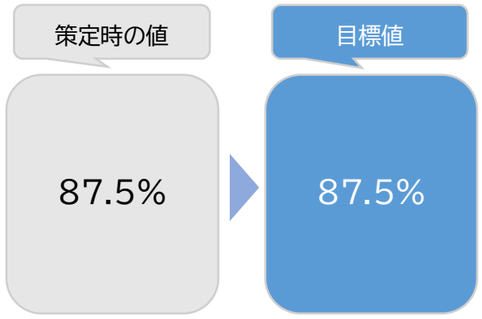
めざす姿を測る指標

1 **地域コミュニティ活動支援に満足している人の割合**



出典）平川市市民意識調査

2 **町会加入の世帯割合※**



出典）経営戦略課調べ

めざす姿を実現するための取組

1 **地域コミュニティ活動組織の支援と町会加入促進**

町会活動の負担軽減と地域コミュニティ活動の活性化のため、デジタルツールの導入を支援します。また、転入・転居された方へ町会加入の必要性をお知らせするなど、市から町会加入を促すことで、加入しやすい仕組みを作ります。

2 **地域活動への参加促進と多世代交流の推進**

町会が取り組む祭りや伝統文化の継承、地域活性化活動を支援し、多世代が交流する活気ある地域づくりを促進します。

3 **地域運営組織の設立・運営支援**

地域ごとの課題解決に向けた地域運営組織の実施事業や今後の事業検討に係る活動を支援するとともに、組織の設立に向けた取組を促進します。

4 **集会施設の維持管理**

定期的な点検の実施により修繕箇所の早期発見に努め、施設の長寿命化と安全性・機能性の確保を図ります。

取組度合を測る指標

新規に町会へ加入する世帯数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
69 世帯	70 世帯	70 世帯

出典）経営戦略課調べ

地域活動・多世代交流事業数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
89 件	95 件	100 件

出典）経営戦略課調べ

地域課題解決型事業実施件数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
11件	14件	17件

出典）経営戦略課調べ

定期点検指摘事項への対応率

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
100%	100%	100%

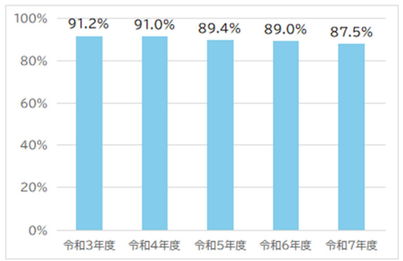
出典）建築住宅課調べ

平川市のいま

現状と課題

- ○ ライフスタイルの多様化による地域のつながりの希薄化や町会活動の担い手不足を防ぎ、地域コミュニティを維持・活性化する取組が必要です。
- ○ 西地区や東部地区において、地域課題解決に向けた取組を進めている一方で、リーダーや若年層などの担い手不足により、新規組織の設立・活動の拡大が課題となっており、人材育成と自立的な運営支援が必要です。
- ○ 集会施設は全施設で耐震化が完了している一方、老朽化が進む施設もあるため、防災・コミュニティ活動の拠点として計画的な維持管理・更新が必要です。

町会加入率



出典）経営戦略課

みんなの意見





※町会加入の世帯割合
市内の全世帯のうち、町会に加入している世帯がどのくらいあるかを表した割合
国勢調査の世帯数に対する町会加入世帯数の割合で算出

■関連する個別計画

個別目標3 平川らしさを伝えるシティプロモーション

対応する主な SDGsのゴール

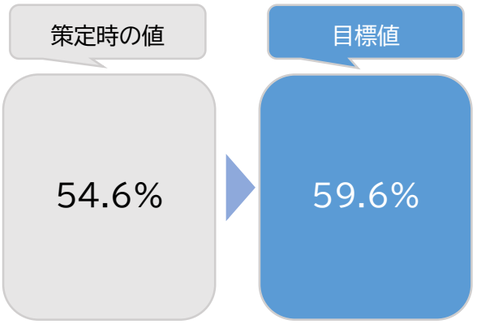
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 市のイメージアップと知名度向上により、市民の郷土愛が深まるほか、ふるさと納税等を通じた関係人口が創出され、活気あるまちとなっています。
- ○ 広報紙、ホームページ、SNS 等を通じて、市政情報や地域の魅力が迅速かつ分かりやすく発信されています。

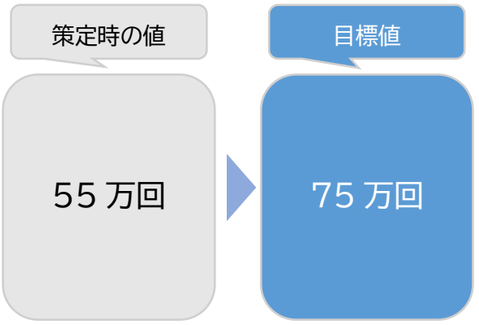
めざす姿を測る指標

1 ホームページ・SNS による情報発信に満足している人の割合



出典）平川市市民意識調査

2 ホームページ閲覧数



出典）経営戦略課調べ

めざす姿を実現するための取組

1 戦略的な情報発信

広報紙やホームページの充実をはじめとし、デジタルマーケティングを活用した戦略的かつ効果的な情報発信を展開します。また、平川らしさの魅力を幅広い対象へ迅速にお届けすることで、市のイメージアップや知名度向上、関係人口の拡大を図ります。

2 ふるさと納税制度を活用した知名度向上

平川市の返礼品と親和性の高いインフルエンサーを活用するなど、SNS を活用したデジタルマーケティングを強化し、市や特産品の知名度向上につなげます。

3 ふるさと納税者から SNS 等への誘導

ふるさと納税の寄附者やふるさと住民登録制度※の登録者に、SNS のフォローをしてもらい、市の関係人口の創出につなげます。

取組度合を測る指標

SNS 閲覧数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
116 万回	132 万回	148 万回

出典）経営戦略課調べ

寄附金額

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
7.92 億円	10.38 億円	13 億円

出典）ふるさと納税推進室調べ

SNS 総フォロワー数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
7,057 人	12,000 人	17,000 人

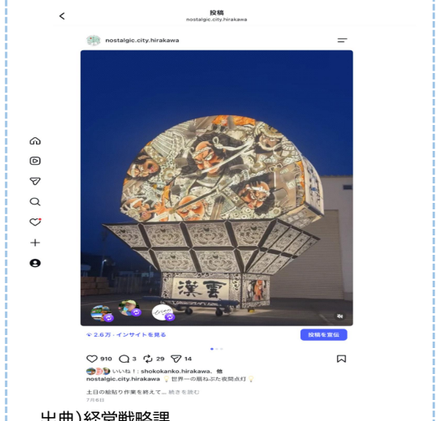
出典）経営戦略課調べ

平川市のいま

現状と課題

- ○ 広報紙やホームページ、SNS を活用した情報発信、著名人や外部人材の活用により市の知名度向上を図っていますが、情報の受け手の多様化に対応する戦略的な発信や情報発信競争の激化に伴うさらなる PR 強化が必要です。
- ○ 現在のふるさと納税市場では、制度を単に返礼品を調達する場としている傾向があり、シティプロモーションとの関連が希薄です。
- ○ 平川市の魅力を知ってもらい、ファンになってもらうことで、そこから市への寄附へつながる仕組みづくりが必要です。

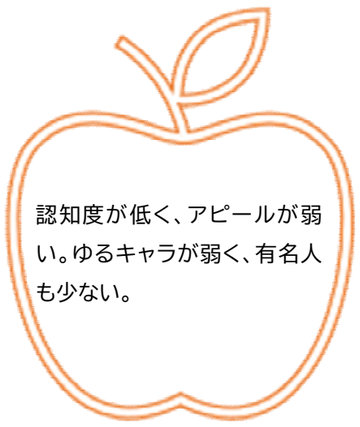
SNS の投稿画像



出典）経営戦略課

みんなの意見





※ふるさと住民登録制度
住んでいる場所以外の地域を「ふるさと」として登録し、地域とのつながりを深め、地域づくりの担い手として関わってもらうための制度

■関連する個別計画

個別目標4 市民協働によるまちづくり

対応する主なSDGsのゴール



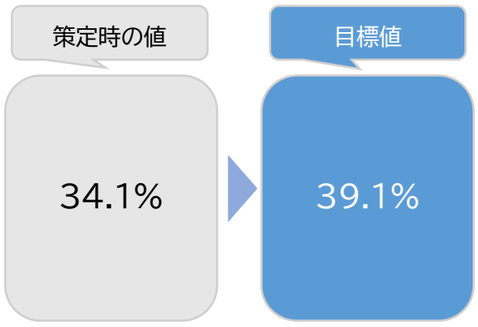
平川市のみらい

めざす平川市の姿

- ○ 市民が幅広い世代で意見を寄せ合い、まちづくりに主体的に関与できる環境が整備されています。
- ○ 市政に市民の声を反映させる仕組みが充実しており、協働による行政運営により、多様な視点を取り入れた持続可能なまちとなっています。

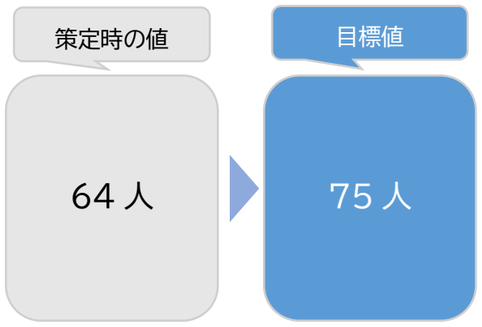
めざす姿を測る指標

1 市政に参画できる機会に満足している人の割合



出典）平川市市民意識調査

2 市民参画事業への参加者数



出典）経営戦略課、みらい戦略課調べ

めざす姿を実現するための取組

1 ワークショップ等を活用した共創の推進

ワークショップ等を活用し、市民が政策形成に参画できる機会を充実させ、共創のまちづくりを推進します。

2 広聴機会の充実

市民との意見交換会等の開催により、多くの市民が参加しやすい広聴機会の充実と、市政への意見反映の強化を図ります。

3 市民が参画できる環境づくり

審議会等への市民公募委員の登用を進め、多様な意見を市政に反映させるとともに、市民が主体的に参画できる機会の創出に努めます。

4 デジタルツールを活用した市民参画の拡充

オンラインアンケート、SNS 投票など、デジタルツールを活用することで、時間や場所の制約なく、若者や働き世代を含む幅広い年齢層の市民が市政に参画しやすい環境を整えます。

取組度合を測る指標

ワークショップ等の実施回数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
18 回	21 回	26 回

出典）経営戦略課調べ

市民意見聴取件数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
28 件	33 件	38 件

出典）経営戦略課調べ

公募により採用した審議会等委員

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
1 人	3 人	5 人

出典）経営戦略課調べ

デジタルツールを活用した広聴機会の実施回数

基準値（R7）	中間目標（R13）	最終目標（R18）
0 回	5 回	10 回

出典）経営戦略課調べ

平川市のいま

現状と課題

- ○ 市民と市長が参加する対話集会を開催するなど、地域課題の把握や意見聴取を行っていますが、若者や働き世代を含む幅広い層が参画する機会の拡充が必要です。
- ○ 市民の意見を的確に市政に反映させるため、幅広い世代の方と協働し、意見を把握する機会が必要です。

意見交換会の様子



出典）経営戦略課

みんなの意見





■関連する個別計画